京城日報

十五日夕刊
本紙定價　發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社
發行兼編輯人 奥田直毅　印刷人 小川三之介

總督訓示

農銀支配人會同に於て

十四日午後總督官邸に於て農銀支配人一同に與へたる寺内總督の訓示左の如し

朝鮮の經濟界は米價の低落及び時局の影響に依り一時沈滯不振の狀ありしも物産共進會の開催及び御卽位の大典擧行に伴ひ經濟界の活氣を促がすと同時に穀類の出廻り頻繁となり加之續業の振興を以てし金融界は漸次殷盛に趣き朝鮮銀行券の發行高は客年十二月に入りて三千四百三十八萬圓にして前年同期に比し千二百五十三萬圓の激增を示したり又貿易總額は貨物一億八百六十四萬圓に上り時局の關係上輸移入額減少したるも前年に比し僅に四百萬圓に過ぎず然るに輸移出額は前年に比し實に千五百萬圓の激增を見るに至れり以上の事實に徴すれば經濟界に多少の消長ありしに拘らず一般農商業は著々順調の發展を遂げつゝあるは復た疑を容れざる所なり此の間に於て金融疏通の職に在る諸子の勞亦た多とすべきものあり然れども財政經濟の狀態は時々刻々に變遷し須臾も停止する所なきを以て諸子は終始其趨勢に注目し之に對應するの措置を攻究して金融機關たる任務を完ふし以て本府が産業を奬勵する旨趣に副はむことに勗むべし

農工銀行の業務は年を逐ふて改善の狀ありと雖も農工資金の散布上未だ遺憾の點なしとせず蓋ふに殖産興業の振作は固より單に官憲の指導にのみ依るべきに非ず資金の融通に俟つ處頗る多しとす故に地方の農工業者をして能く此銀行業務の性質と資金利用の方法とを了解せしめ苟も農工業上必要なる資金の要求に對しては先づ當事者の信用、事業の計畫、經營の方法等を精査し確實と認むる場合に於ては内鮮人に論なく公平に資金の供給を圖り以て産業助成の目的を遂ぐるに於て遺憾なからしむべし

尚各種の契又は組合に對する連帶貸付に至りては個人單獨の事業と其の性質を異にするが故に能く地方當局者と協議を遂げ機宜の措置を怠らざるを要す

地方金融組合委託の貸付業務は未だ所期の成績を見るに至らざるが如し抑も本業務を開始したる旨趣は僻村阪邑に至る迄汎く農工資金を散布し以て地方金融の開發に資せむが爲なり各行當事者は篤と此の意を諒し地方金融組合理事者と密接の連絡を保つと共に常に地方一般の狀況を調査し貸付業務の的確と圓滑とを圖り以て本業務開始の旨趣を徹底する事に注意すべし

凡そ如何なる業務を問はず其の成績の擧ると擧らざるとは主として其の職員の適否如何に由らずむばあらず資金集散の局に當る銀行業に於て殊に其の然るを見る故に諸子は周到の注意を以て業務の内容を整頓し秋毫の過誤なきを期すると共に斷わず行員の智能品性を陶冶するに努め一面に於て業務の進捗に資し他方に於ては風紀の肅清を圖り行員を擧げて謹厚篤實ならしめ浮華を避け質素を尚ぶに至らば世人の信任自ら至り行務の發展も亦庶幾するを得む本總督は玆に諸子連日の勞を諒とし更に向後一層の奮勵を望む

段内閣の暗流漸く急

瓦解は免れ難からん

段内閣の暗流は漸く急にして王内務曹外務等の各總長は何れも辭表を提出せり黎總統は引き留め居るも近く瓦解は免れ難き運命なりと（北京特電）

常德邦人凌辱さる

北軍第六師團兵の暴行

三菱會社の湖南省常德出張員木戸謙助氏は去る六日同地引上げ中の北軍第六師團兵に毆打凌辱されたり其原因は三菱の備ひ民船を強制的に徴發せんとしたるを拒絶したる爲めにして日章旗を樹てある民船二隻は暴力を以て奪ひ去られ兵士數名は同氏が隊長と談判中なるを背後より棍棒にて亂打せり之が爲め常德の日本人は大に憤慨しつゝあり（漢口特電）

米國の對露公債成立

二千萬弗の公債契約成立せり

露國政府と米國銀行團との間に二千萬弗の公債契約成立せり期限三年利率六分五厘なり（紐育電報）

露軍デ河占領の價値

第八軍のレムベルグ進撃

露軍がドユプムの西二十哩なるデミドウ河を占領せる爲めブルシロフ軍はタルゴウキツネに於ける敵の攻撃を遮斷する事となり露軍の爲め頗る重要の價値を齎らせりヨヴエル方面に前進しつゝある第八軍は味方がタルノポールの前面に突進せんとするを援助し相共にレムベルグに進撃せんと用意しつゝあり（露都電報）

首相邸午餐會

大隈首相は十七日石井外相加藤海相大島陸相上原參謀總長島村軍令部長田中參謀次長山下軍令部次長等を早稻田の自邸に招き午餐會を催ふす筈にて時節柄一般に何等かの意味あるものと觀測せられつゝあり（東京電報）

西侯入京期

京都田中村に歸臥しつゝある西園寺侯は月末上京すべしと（東京電報）

吉原東拓總裁

吉原東拓總裁は十五日朝入港の連絡船新羅丸にて釜山著同午前十時三十分發列車にて京城に向へり（釜山特電）

金融組合會同（第一日）

金融組合理事會同第一日は十五日午前九時より總督府第二會議室に開催理事一同は勿論寺内總督、山縣政務總監以下各部長官、局長、關係各課長等出席し荒井度支部長官統裁の下に直ちに日程に入り午前午後とも諮問事項の答申ありて三時散會したり

昨年果樹收穫高

大正四年に於ける果樹は北部地方に於て水害を蒙り南部地方に於て病蟲害又は旱害を被れる所ありしのみならず全道を通じ冬季に於ける寒氣劇烈なりし爲め花蕾多くは枯死し或は樹勢の衰弱を來せる結果、結實年齡に達せる果樹數漸次增加せるに拘らず苹果、栗を除く外は前年に比し何れも其總數收穫高を減ぜり卽ち桃百三十四萬九千九百二十七貫目、梨百二十六萬三千八百六十七貫目、柿二百四十七萬五百六十五貫目、苹果八十萬三百十四貫目、葡萄十五萬四千三百貫目、栗三百六十四萬七千五百八十七貫目にして之を前年に對照するに桃二分、梨六分四厘、柿三割五分三厘、葡萄五厘の減收にして苹果二分四厘、栗五厘の增收なり

京畿春繭豫想

京畿道の春蠶見込額を聞くに約六千五百石の豫定にて昨年の四千八百石に比すれば約四割の增收なりと其の販賣方法は道指導の下に共同販賣を行ふ筈にて其石數四千石以上に達す可く販賣は七月一日より十四日迄の二週間とし道を二分して順次取引を行ふものなりと

天候と春蠶

此頃の京畿道内に於ける春蠶豫想は大體增收の筈なるが昨今連日降雨のため給桑に困難を來し居り或は多少蠶繭の品質上に影響を及ぼすことなきやを憂ふる者もあり併し大體に於て成績良好と謂ひ得べく且つは道及び其他當局者の指導により飼育方法も著しく發達し來り飼育上の過失の如き殆ど皆無たる迄に進步し居れば或は今後の天候如何によりては杞憂に終るべしと

夏蠶掃立時期

京畿道内の夏蠶掃立は來る七月五日頃より開始の見込にて其枚數二千三百枚を下らざる可しと

獻金締切延期

京城府が取纏め中の明治神宮に奉獻金申込は十五日を以て締切る筈なりしも申込者意外に續出し且銀行會社側の獻金額未決定により爾三日延期する事となれり、尚ほ府にては獻金申込の總豫定額は一萬圓と定め八千圓を會社側より二千圓を民間より募る筈なりしも會社側の申込額豫定に達せず已むなく民間側の奮發を求むる事となれりと

郵便局の各戶調査

京城郵便局は通信配達の改善を期し市內居住者の住所氏名を記載せる原簿作製の計畫を立て目下著手中なり然るに同一番地內に數十戶乃至百數十戶居住し且つ門戶に標札を附せず或は番地札を揭げざるもの又は居住者と門標と一致せざるもの等あり調査上手數多く從て轉居者は勿論現在居住者にても其現住所を同局に申出る時は郵便電信の配達上多大の便宜を受く可しと尙ほ同局の集配區域は南大門城壁以東貞洞より光熙門町に至る間にして大廣橋及び水標橋の流域以南の地なりと

野田副總裁消息

福岡に滯在中の野田東拓副總裁は兩三日中に歸京の旨或筋へ通知ありたりと

藤田繁郞氏入京

外務省會計課長心得公使館一等書記官藤田繁郞氏は岡島屬と共に安東方面より十四日午後七時三十分南大門驛著列車にて入京、朝鮮ホテルに投宿、十五日は總督府を訪問し後昌德宮秘苑其他を參觀したり十六日朝出發歸東の筈

鐵道兩課長視察

十三日朝發新義州方面視察中なりし横井汽車課長、三本營業課長は十五日定州に來り十六日朝歸來の筈

隈部々長出水視察

隈部京畿道警務部長は小熊警部を隨へ十五日午前龍山に出張し漢江一帶の出水狀況を視察せり

長安坪堤防警戒

連日の大雨にて漢江の增水二十數尺に上れる爲め東拓にて施工中なる纛島近郊長安坪開墾地長堤防危險の虞れあり同社にては警戒中なるが十五日朝迄は未だ何等の故障なかりしと

龍山偕行社設立

朝鮮に師團增設の結果六月一日より當龍山衛戍地（京城を含む）にも偕行社を設置せらるゝ事となれり元來偕行社は總裁として陸軍武官たる皇族を推戴し帝國の各衛戍地に設けられ各其地の名を冠して某偕行社と稱呼するものにして當地に設立のものは龍山偕行社と稱し名譽社長として寺內朝鮮總督を推戴し社長に井口軍司令官、副社長に立花師團長を推し並に社員は陸海軍將校同相當官、並に高等官たる軍屬に限らるゝと雖も休職、退職、停職、豫後備役、退役將校同相當官にして希望のものは隨意入社する事も得又偕行社の設けなき地に在籍若しくは居住するものにして入社せんとするものは最寄地方の偕行社へ入社し得らるゝものなりと尙朝鮮將校にして希望のものは是又入社し得べく又朝鮮の公族、貴族にして軍服著用を許下せられある者は名譽社員となれり當社の役員は幹事長に白水軍參謀長、副幹事長に岡本師團參謀長其他幹事として各部隊より將校同相當官若干を選び如上偕行社は設立せしも其建築物等は未だ著手するの運びに至らざる故に將來社員集會等の爲軍司令部倶樂部の附屬建物（元共進會の半永久建物）を使用する事となれり

鮮滿直通時刻改正

鮮滿直通列車は十五日より時間變更されたるが右變更は北行のみにて南行には變更なし新舊時刻左の如し

北行	改正時刻	舊時刻
南大門發	午前七時五〇	六時五〇
同 [illegible]	八、二〇	七、一〇

仁川

▲松永道長官講演　目下來仁中の松永京畿道長官は十五日午後七時より仁川倶樂部に於て一場の講演をなす▲歡迎舟遊會　仁川有志の發起に係る松永道長官歡迎舟遊會は十六日正午より催す事に決定せり

清州

▲輕鐵問題　豫て喧せられつゝありし忠北輕鐵敷設問題は道回大屋鐵道局長官の來淸と共に俄かに氣勢を高め既に內地資本家とも出資方法につき交涉を始め著々進捗せしめつゝあり又一方淸州を中心とし其實現を速かならしめん目的にて期成同盟會を組織し極力運動中なれば意外に急速に實現すべし▲二部長歸任　二部長會議參列のため上京中の佐々木忠北第二部長は十四日正午歸任したり▲副官巡閲　淸州憲兵隊副官野中中尉は巡閲のため十一日鎭川及び忠州に向ひたるが歸任は十八日頃なるべし▲郡守道郡參事會議　忠北道にては十五日より三日間郡守會議を開催し第三日目の十七日には道郡參事をも召集して參事會開會

大田

▲錦山道路　全羅北道錦山は人口約三千を有し主要産物としては繭、棉花等も産出多く山間僻邑の地なるも商業盛にして物貨は交通の便あるを以て大田より供給を受け居れり然るに大田を距る約三里の地點卽ち大寶山は海拔約二千尺あり其中腹を通じ居る爲めに荷馬車客馬車共に通ずるには非常の苦心を要しのみならず貨物は積載量を半減する狀態なれば最近錦山有志は所轄官署に又大田市內有志三十名も連署を以て大寶山切下げ工事を其筋に請願し既に測量に著手せし由なるが一般に急速の工事著手を希望し居れり▲儒城郵便所　儒城溫泉は近時浴客增加に連れ旅館の設備等增々改良を加へ居れるが其筋にても是等多數の浴客の爲め郵便所を設置すると共に電信電話の取扱をなすべく既に十一日以來實測をなしつゝあれば其開所も又遠からざるべしと▲一週年記念會　大田武德館は設置後一週年に相當するを以て十三日午後二時より小學校生徒の擊劍柔道等六十餘番及び會員の擊劍餘興として井上氏の居合拔數番あり午後五時久門教育會長の辭ありて閉會せり

益山

米價の不昧は市況沈靜を回復するに至らずたゞ氣候の關係上白布類の取引稍目立ちたるに過ぎず蠶繭は近來著しく發達したれども其他の産業に至りては取立て記すべきものなし市場金利内地人二步五厘內地人對鮮人三步鮮人對內地人三步五厘を示せり

群山

▲府協議會　去る七日午後二時より群山府廳樓上に於て府協議會を開きたるが大澤藤十郞中柴萬吉礒部謙哉氏等三協議員及び天野府尹千々松池田主任書記列席、府の基本財産設定に關する件二、本年度追加更正豫算の件に付協議する處ありしが原案に多少修正を加へたるも大體原案通協議可決したり▲商議認可　豫て認可申請中なりし新組織に係る群山商業會議所は愈々本月三日附を以て去る七日設立認可の指令に接したるが十二日午後二時より群山府廳樓上に發起人總會を開き創立諸般の事務打合其他に關し會議する處ありたり▲漁夫慰籍會　群山に於ける年中行事の一として朝鮮水産組合全羅北道支部長井上水産技手斡旋の勞を執り毎年六月他數漁夫の來群するを期して漁業者慰籍會を開催し彼等遠來の客を犒ひつゝありしが本年も十一日午後一時より群山座に於て漁業者慰籍會を開催したるが全羅北道廳より長官代理大久保第一部長釜山水産組合本部より横田庶務係長其他天野府尹外群山官民多數臨席ありて來會漁業者は會場に溢れん許りの盛況を呈し井上水産組合支部長の開會の辭道長官代理大久保第一部長の訓示組合長代理横田氏の演告天野府尹の諭告井上部長の報告ありて餘興に移り來會漁夫等は十二分の歡樂を盡にし散會したるは午後六時なりし

軍威

四月中旬以後雨量多く過濕の爲め一部麥作の不良を稱へしも大部分は良好に發育し一般豐作を豫想され稻苗は發芽良好苗丈け三寸餘に伸びたり市場は不味穀類の回著少なく僅かに當用小口取引行はるゝのみ加ふるに諸雜貨類の昇騰は購買力を減殺しつゝあり

寧越

江原道寧越地方は目下麥盛熟期にして遲くも本月中旬刈込開始すべく又最近漢江を溯航し來れるものにして下航せるもの約二十五隻以上に達し大豆四百石煙草二萬五千貫を搬出せり又市場に於ける物貨集散は農業及び夏衣用の放資高多く金融は好調を呈し緩漫金利信用貸內地人最高六步最低三步內地人對鮮人最高七步最低三步市場物價籾二圓八十錢精米十二圓大麥三圓小麥四圓大豆四圓五十錢小豆五圓粟三圓を上下しつゝあり産業方面に於て寧越煙草は特産物の重なるものにして年々二十五萬貫以上を産し東亞會社の如きは買收出張所を設け毎年斯業の發達を助けつゝあり

三道横斷記

丹陽より　上田獻心

▲五日早朝を發し無事永春に到り派遣所に一泊す此處は憲兵派遣所在地なれど今は內地人とて派遣所、郵便所、普通學校に勤むる同胞人あるのみ山間の孤村さして見る可きものなし思ひの外京都美人系に屬せる鮮美人の住めるあり端らずも話題に上りぬ此山家陋屋に此美人あり一句なかる可らず一行の口を衝きて數句出づ

玉一つ雨に出でけり夏の山

岩蔭の移しかゆべき庭もがな

山里に咲きにほひぬる姫百合の手折るもおしいさなからに見む

▲溫泉の古城を前に見美人の麗姿を後に殘し乍ら此處を辭し住大里憲兵出張所に[illegible]只管行路を急ぐ住大里より丹陽に至る道路は往還よく改修せられ歩むも心地よかりき途中小白嶺を左に望み[illegible]丹陽八景の一なる島潭[illegible]石門等に船を泛べ丹陽に着せしは薄暮なりき漢江の流域何處までも路に沿うて水利の[illegible]を嘆くに似たり

▲丹陽は忠北の一都市內地人戶數二十一鮮人戶數二百五十三慶北との關門五市場にて慶北醴泉興邦方より米穀を此路に[illegible]然れども生活の程度未だ高からず鮮商は醴泉地方より一石八圓五十錢の米を仕入れ丹陽市場にて十一圓內外に賣捌き而して駄運は一駄二石を載せ二日間の運賃一圓廿錢と謂ふ

▲丹陽郡より忠州郡に至り[illegible]は極度に迂し山間の徑路石として壞れざるなく岩として割れざるなし五步に一箇所十步に數箇所ハンマーの痕跡鮮かなるを見ては誰人も好奇心に唆らるゝの思ひす

垣石はないかさ人の山さがし人の見る目も可笑しかりけり

岩かどに顯あらはす[illegible]

高靈

昨月中は天候順調なりし爲め麥作良好目下麥刈に著手しつゝあり稻苗代は近來稀なる好況を呈し既に四寸餘の長さに達し移植の準備中なれば遲くも中旬より下旬まで移植を了する事となる可し

長鬐

昨年水害を受けたる爲め復舊工事盛にして是に要する一般資金の需要昨今增加せるが爲めに金融は多少活氣を呈し來たりしも其他の資金需要は未だ活潑ならず金利內地人間普通三步の間を上下しつゝあり

釜山

▲教育會總會　釜山教育會にては十五日午後四時より釜山圖書館に於て總會を開き大正四年度決算報告及び役員の改選を行ふ▲桂釜山驛長著任　新任釜山驛長桂榮三氏は十四日午前五時四十分著にて著任したり▲雜貨商組合例會　釜山雜貨商組合にては十四日午後七時より商業會議所內商工俱樂部にて例會を開けり▲小學校の增設　釜山學校組合にては大正六年度に於て新たに西部市街地方面に小學校を增築することに決定し近日中に教育調查會に附する筈なるが其の敷地は約千二百坪を要すと▲ボーザーヘルダー　ボザー孃は先般來江原道金剛山探勝中なりしが十二日夜著列車にて來釜鐵道ホテルに一泊の上十三日夜連絡船にて內地へ向へり▲鄕津檢事正出張　釜山地方法院檢事正鄕津友彌氏は十四日午前十時發の列車にて江崎書記を隨へ密陽梁山方面に出張せしが歸廳は十六日頃なりと▲雲右衞門乘込　病氣の爲め一時來釜を見合はしたる桃中軒雲右衞門は愈々本月下旬頃渡鮮すべしと當地の建元迄通知ありしと

立太子式期日

今秋御擧行相成る可き立太子式期日は臨時議目とし式部職、調度寮、東宮職等に於て調査に著手せり（東京電報）

上海に國會召集

支那國務院は舊國會議員に對し來る三十日上海に國會召集の旨宣言せり（北京電報）

梁士詒辭表提出

梁士詒は十四日辭表を提出せり（北京電報）

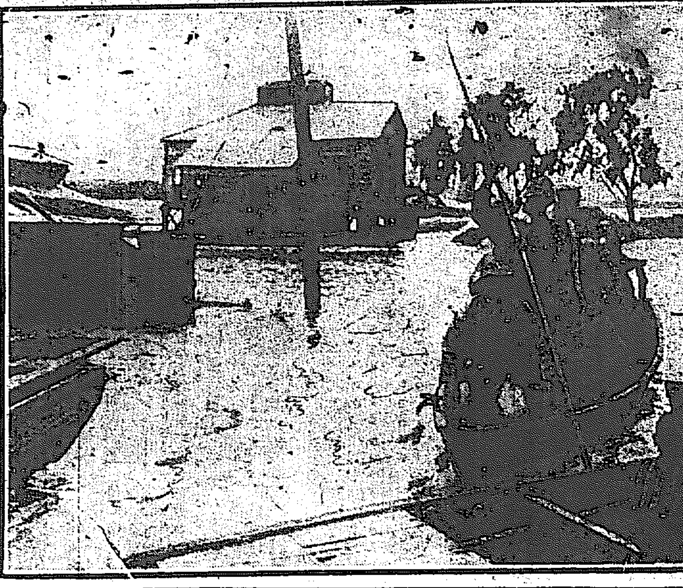
人事消息

▲矢島音次氏（黄海道第二部長）入京中の處十五日朝退京
▲河野久太郎氏（大倉組技師）同上
▲高橋克親氏（[illegible]）十五日朝入京天眞樓へ
▲石黑涵一郎氏（辯護士）十六日夕元山より入京天眞樓へ投宿の豫定
▲大庭千代丸氏（久原鑛業技師）同上
▲內山惠之丞氏（古川鑛山技師）入京中の處十六日朝退京の豫定
▲伊藤源三郎氏（慶北第二部長）同上
▲小瀧元司氏（久原鑛業[illegible]）同上
▲本田幸介氏（勸業模範場長）十四日入京
▲矢野久三郎氏（釜山稅關長）[illegible]
▲吉原東拓總裁　十五日著京の筈
▲小杉乙治氏（進明女學校校長）視察の爲め十四日[illegible]
▲石塚農商工部長官　病氣の爲め引籠中の處輕快に赴きたるを以て十五日より登廳
▲李完用伯　十六日朝南大門發[illegible]へ

社告

拾三日夜來の豪雨未だに歇まず鐵道、輕鐵、自動車等の輸送機關に故障を生じ爲に本紙の各地方に發送するもの今後兩三日復舊迄の間は自然遲滯致す可き箇所も有之可しと存候此段地方愛讀者諸彥に謹告す

大正五年六月十五日　京城日報社



隈部警務部長の浸水地巡視……舊龍山元町……

●漢江の出水

□龍山の住民は避難を始めた

矢野分隊長以下憲兵の大活動

十三日夜來の豪雨のあとを受けて小歇みなく降りつゞいた雨のために漢江は刻を爭ふて増水して來た、十四日夜から十五日朝にかけての増水は殊に凄じい勢ひとて舊龍山元町電車終點附近から江岸近くに住む人達は

▽漸く不安の念に驅られながら十五日は夜を罩めて降る雨の音を聞いては安き眠りにも就けぬ有樣で水見舞に來る人達に炊出しの用意をしながら徹宵したものも尠なくなく京城府廳龍山出張所員の如き宮坂主任以下所員總出で徹夜憲兵隊員消防等協力して警戒に當つてゐたが十五日午前二時に至りて十尺に達したが更に午前七時には二十二尺に増し來り漢江通り十五番地附近即ち元神明町一帶及び二村洞附近に溢水して來て危險なところから附近の住民十五六戸は各々避難を開始したが水勢はいつかな減退の模樣は見ねず

▽時を逐ふて増し來り十五日午後一時には實に二十四尺に達するに至つた然かも雨は十時前後から霽れてたけれども上流増水の影響を受けて全く減水の見込みなく一方なので龍山憲兵分隊では矢野分隊長以下憲兵一同大活動を開始し草鞋がけとなつて現場に出張し府廳員、消防夫等と共に警戒に努めてゐた

□危險時刻は十六日の未明

避難所と救護船の用意成る

十五日午後一時の増水二十四尺に達したけれども未だ附近一帶は危險を感ずるに至らなかつたが上流なる江原道地方は盛んなる降雨あり之れがため驪州、加平の出水夥しく十五日正午に於いて驪州二十三尺、加平二十一尺となり

▽尚ほ増水の模樣あるとの報頻りに達するので警戒の手は一際も緩められず然かも上流驪州、加平と龍山附近とは平常に在つても約一丈の差なれば上流の水が落下してくる一二十四時間後には當然三十尺以上になるわけなので危險時刻は十五日夜より十六日未明になるべく現在安全を保ちつゝある電車終點附近の住民も此時刻の危險を慮かつて避難の準備怠りなく官憲當局者にあつても同夜は十分手配をする準備を整へ

▽水害者の避難所 としては新龍山では小學校、舊龍山では本願寺布教所、麻浦では公立普通學校を之に充て救護船四隻を用意し十五日正午から何時でも避難の出來る準備をし萬一の場合に於ける炊出しの用意なども出來てゐる、十五日になつてからは新舊龍山共浸水家屋は皆無で麻浦に床下浸水三十六戸あつた限りである

□旭川堤防決潰の憂ひは無い

其筋の手配が充分行屆いてゐる

元町三四丁目から旭川堤防附近一帶にかけて溢水してくる水の旭町堤防を通じて市街に流れ入る模樣なので十五日午前十一時に至り堤防各所の水口を閉止したので堤防際の人家は浸水を免がれたが此の結果更に降雨あるに於いては彌生町の山地から流れ落つる水のために舊龍山市街は出水すべき模樣である昨年の苦き經驗に鑑み堤防に對しては今から充分の手配を爲しつゝあるので決潰等の憂は今の處先づ無いと見ていゝとは當局者のいふ所である、本日交通の絶たれたのは元町四丁目から憲兵派出所附近に至る間で之れ等に對しては救護船を絶わず運航せしめて連絡を保つてゐる

□赤い旗の救護船、流れさうな家

隈部警務部長の浸水地巡視

漢江増水の報が櫛の歯を引く如くに傳へられる十五日の正午から小舟を傭つて水害地を視て廻る先づ最初眼に著くのは京城電氣會社の瓦斯タンク前の草原に黄色を呈した濁水が漲つて一面の泥川と化してゐる、その河面に凄じく渦卷てゐる水泡の間にて赤い旗を掲げた救護船が慌だしく河面を右往左往する、憲兵や金筋服の府廳の吏員が櫓を振絞つて浸水家屋の荷物の搬出などの指揮をしてゐる、十二時過ぎ隈部警務部長はマントを著けて小熊總監部消防主任警部及び隨員と共に水害視察に來り家屋の中にこそ來ないが出ろも入ろも水攻めに遭つて自由の利かない憲兵派出所を視察して歸つた、一番悲慘なのは電車車庫裏の時重運送店で炊事場が前夜の内に悉く水に浸つて僅かに竈所の明り

▽窓丈が露はれて ゐるのみである、一時頃までは江岸の宇田鯛屋の前まで水が來てゐて救護船はすべてそこから發著する貸船宿の邊りの電線は胴中まで水に浸つて此の附近の溫突が一軒僅かに家根丈け出して今三尺も水が増せば流れ出してアップ〳〵してゐる岸に立つてゐる水見物の顔にも堤防を固めてゐる人達の顔にも附近の住民の顔にも言ひ合はした樣に不安の色が漂つてゐるかと思へば又此の中に投網を打つてる氣樂著もある

▽市内被害多し(午後三時記)

十三日來の豪雨に依り本町署管内明治町一、二丁目及び永樂町一丁目は十四日夜床下に浸水せる家屋二十六戸あり南山町三丁目外三箇所にては道路の破損したるもの長さ七間、水標橋通河岸の破損一箇所、又茶屋町三角町にて石垣二箇所三十六間の破壞あり

●各地水害

▲湖南各地出水 全州輕鐵も運轉不能

十三日來豪雨の降り續き湖南線裡里群山間及び裡里、木浦間三箇所鐵道線路に浸水破壞せし爲め列車の運轉不能となり未だ運轉の見込立たず全州輕鐵も亦浸水し運轉不能となり從つて郵便物遲延を免れず大田川は増水し溺死者一名あり、大東川は改修せる爲め増水するも汎濫の憂なく市民は一般に安心し居れり(大田特電)

▲錦江増水十七尺 湖南線江景は十三日來の豪雨により十五日朝錦江の増水平水位より十七尺以上に達し市中浸水著しく附近の水田にも汎濫せしが同市中に於ける郵便配達は舟楫により行はれつゝありと

▲鐵橋三箇所浸水 全羅南道にては長城、林谷間の鐵橋三箇所浸水し十四日午後三時十分發の北行列車は不通となり減水するに非ざれば交通不可能なるべしと

▲美湖川橋危險 増水十八尺にて交通杜絶

十三日以來の豪雨の爲め忠南地方は各河川汎濫し清州忠州鳥致院間の行通全く杜絶の狀態に陷り郵便物、新聞、自動車等の通信及交通機關亦杜絶の止むなきに至れり清州にては美湖川の出水十八尺に達し清州鳥致院間に架しある百二十間の美湖川長橋も危險に瀕したり清州五松里間は一面の海となり道路の水深四尺に及べり清州忠州間の達川は十四日午後六時増水十二尺に達し渡船不能の爲め交通杜絶せり清州芙江間は山崩れの爲め又交通杜絶せり清州市中は無心川の出水甚だしく道路の水深三尺餘に達し警官消防等總出にて警戒中なり(十五日午後二時清州電話)

▲元山道路缺損 前日來の豪雨にて十五日午前九時頃京城議政府間議政府楊州間は元山道路の缺損せる箇所多く車馬の通行不能となり、楊州驪州間は郵便物の杜絶を來せり

▲四渡船場停止 京畿道高陽郡にては十四日夜より春風亭、新川里、楊花津、座中里の四渡船場は増水の爲め渡船を停止したり

▲漢江上流被害 京畿道驪州郡邑内に於て十五日午前八時漢江の増水二十一尺に達し道路の一部破壞し爲めに自動車は不通となれり、始興郡鷺梁津にて十五日午前八時漢江十八尺の増水となり渡船杜絶せり

▲水原郡の水害 京畿道水原郡に於ては十四日午後四時迄に判明せるものは流失家屋一戸、浸水家屋四戸、道路決潰十二箇所、橋梁破損三箇所、田地流失一町歩、八十町歩の浸水あり

▲新延江の増水 江原道にては京春道路數箇所の破損あり新延江は十餘尺増水の爲め十五日午前十時交通杜絶となりたり

●二千の護國軍

支那官衙を襲ふ

莊河廳管内花園口附近に首領均鄭俊の率ふる約二千名の護國軍蜂起し官衙を襲ひ民家を掠奪すとの電報十三日莊河廳知事より安東支那官憲に達せるが東邊道尹は鎭守使と協議の上巡防兵二百餘名を急派するに決し其の一部は十三日夜當地著十四日夜殘餘の部隊の來著を待つて直に安東出發花園口に向ふ筈なりと(安東特電)

●鐵道故障

降雨被害頻發

△湖南線三箇所

△裡里芙蓉間 十四日夜來の降雨にて湖南線裡里芙蓉間、金堤泰仁間線路浸水したる爲め十五日午前五時二十分裡里發井邑行及び同午前七時十分井邑發裡里行兩列車は運轉取消の止むなきに至れり

△長城林谷間 第二林谷川氾濫して線路に浸水し來れる爲め十四日第一五五列車正午木浦發大田行僅數日運轉は運轉不可能と爲り十六日朝よりは運轉復舊せん豫定なるも降雨激しくして確かなる見込立たず

△群山支線不通 群山支線は切取築堤及び線路壞崩數箇所に亙り群山裡里間列車は全部運轉中止を爲し鋭意復舊工事に努め居れるも今の處未だ復舊の見込立たず

△京釜線復舊期

△安養の徒歩連絡 京釜線安養始興間安養川鐵橋故障の爲め鐵道局にては直に安養川兩岸に假停車場を設置し貨客は其間一丁餘を徒歩連絡を爲し居れるが其爲め列車に多少の時間變更を爲したり左の如し

	現場發	南大門著
五列車(釜山安東縣間急行午後九時南大門著)	午後八時五五分	午後九時四六分
一列車(同上午前八時五十分南大門著)	午前八時五〇分	午後九時四三分
二〇一列車(鮮滿直通列車午前七時五〇分南大門著)	午前七時四八分	午前八時三四分

右時刻に據れば各列車共徒歩連絡に據りて

△遲延する時間 は四五十分間に過ぎず而して二〇一、一、五各列車共南大門驛にて乘替接續して特發北行し居れり十四日午後九時南大門著の筈なりし五列車及び同午後七時五十分南大門發の二列車の右不通箇所に於ける徒歩接續は夜間なりしと折柄の降雨の爲め

△豫想外に暇取り 五列車は現場二時間四十分遲發せり爲めに南大門特發の五列車は龍山にて待合せ二時間延發北行せるが途中漸次恢復し平壤に於ては一時間五分延著發せり又二列車は現場二時間廿三分延發なりしも途中増延して大田にては三時間五十分の延著發となり爲めに遂に十五日朝釜山發の連絡船には不接續なりき

△開通は十六日朝 鐵道局にては稻垣工務課長は殆ど現場に附きりにて數百の工夫を指揮監督し大屋長官も十四日午後現場を視察し安藤參事亦十五日午前現場に至るなど奔走を力め居れども奈何せん河水益々増加して手の施し樣なく唯々減水を待ち居る狀態なるが十五日午後に至り雨漸く歇みたるより次第に減水すべく豫定の如く工事進捗せば十六日初列車(午前五時安養驛通過南大門行)より通過の見込なり

●昨今の天候

□今明日中に晴天□ □恢復見込みなし□

十五日も正午迄は依然として降雨引續き低氣壓は其後各所に現れ北支那方面の低氣壓も亦續々襲來し殆ど

▽西朝鮮沿海 に集中したるが如き觀あり十四日朝より十五日午前六時迄の降雨量は五十八ミリメートルに達し十五日正午に至り降雨漸く止みたるが十三日の降り始めより十五日正午に至るまでに實に二百二十八、五ミリメートルの雨量にして六月中の雨量としては

▽新レコード なり去る明治四十三年六月非常の降雨ありし際も六月中の全雨量は百八十三、三ミリメートルにして此の最大降雨レコードに比し本年は半箇年にして既に之れを超ゆる事四十五、二ミリメートルの多きに達したり今回の

▽降雨區域は 京畿、江原兩道を中心とし江原道洪陵の如きも亦六十ミリの降雨あり次に仁川元山等の雨量亦尠からず十五日に至り降雨區域殆ど全道に擴大し僅かに龍岩浦城津に降雨を見ざりしのみなり

▽木浦及南鮮 一帶の沿海は今朝より南風可成り強く降雨は止むべきも今明日中には快晴を見る事は難かるべし(京城測候所談)

●海軍の初飛行

去る九日海軍航空隊に飛行學生として入隊したる可兒坂本今村三木山村の五中尉並に高田向坂兩機關中尉は十二日午前八時より九時に至る間追濱飛行場に於て處女飛行を行ひたり機は七十馬力イの三同四の兩機を使用し海谷桑原山本の三中尉教官となりて交互に同乘約十分宛の飛行を試みて好成績を收めたり(東京)

●大嘗宮燒却始まる

人夫數十名の白丁姿

大嘗宮燒却に就きては曩報の通り取壞の準備整頓し居れるが右取壞は京都猪熊三條の三上吉兵衛氏に御下命相成りしが各人夫數十名は何れも健康診斷を行ひ淨衣を著けて取壞に著手し燒却の際は白丁を著くる由なるが大嘗宮の取壞は一兩日中に著手し來月初旬を以て終り天氣都合に依り十五日より燒却を始め來月上旬には東京より掌典入洛大嘗宮跡にて後鎭祭を執行すべし(大阪)

●橋上から墜落

元山鐵道建設事務所の建築工夫鎌田安太郎(三二)は文川永興間の鐵道工事に從事中去る十三日高原永興間元山起點二十八哩附近加南川鐵道木橋の枕木を差し込まんとする刹那誤つて川中に墜落し大負傷を爲せり

●酒幕を襲ふ

十日午前一時頃平壤寺洞酒幕吳俊燮方に一名の鮮人强盜押入り家外には多數の同士ありと脅迫し泊り合せたる朴某及び主人より金品十餘圓を强奪し尚ほ軒下に宿かり居たる乞食の貰ひ貯めた二十五錢をも取上げて逃走したりと

●滋賀縣の大火

滋賀縣伊香郡木の本町字廣瀬なる一民家より十二日午前十一時頃發火し二百餘戸を燒失し木の本町に延燒して鎭火せり(大阪…)

●…り上げて脅迫 平安南道…より牛町野に隔りたる山谷に連れ行き… [illegible]

●天氣概況 [illegible]

あつ… 六月十六日 小雨後曇 [illegible]

演藝案内

黄金館 電話一八五二(階上)二六三七(階下) 天然色活動寫眞株式會社朝鮮一手代理店 Mカシー商會
●六月十六日より差替の大寫眞 ●英國西部劇ストレーク最長尺 拾腹絶倒の喜劇 ●泰西大活劇空中の大秘密 空中の大格鬪…地上の大活劇 ●新派大悲劇「山蹴踢」 ●新派花形名歌の島甚小坂部舘の場 [illegible]

浪花館 明治町 電話二六〇番
今晩の讀物 △二人探偵(飛之助)△湖田主水(如月)△櫻川五郎藏(雲照)△水戸黄門記(兎月)△佐原家騷動(長講一席)京山恭爲△五郎正宗孝子傳(如雲) [illegible]

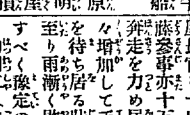
伊賀越 特別寫眞 萬朝報夕刊連載 日本の三大仇討 全長一萬三千呎 曾我忠臣藏以上 本日より上場 大正館

御成座 御成町 電話二九一
八日目藝題 一番目 お軍お仙 二番目 喜劇夢の浮橋三場 七場 [illegible]

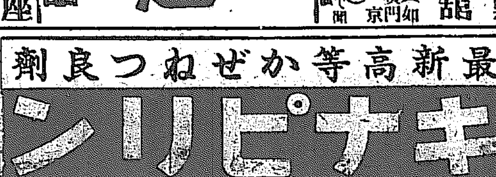
大正館 櫻井町 電話八七三 [illegible]

てんかん 種々の手當も効なく時々病で お困りの方は一切手を知らず自宅で人知れず秘密に全治せしむる 三十餘年の經驗と最新の學理を應用せる自然療法で並に之が 名古屋市東區南小川町 救生館

クスリはホシ シコロダイン 此外適藥四十餘種 各地藥店にあり 食あたり、留飮、眩暈、胃病、腹痛、暑あたり、吐瀉 定價 十錢、二十錢 東京 星製藥株式會社



最新高等かぜねつ良剤 キナピリン



株式名義書換停止 來六月十八日ヨリ七月五日マデ臨時株主總會終了日迄名義書換停止ス 大正五年六月 朝鮮皮革株式會社

太田胃散 [illegible]

に揃り上げ小刀を示して[illegible]金を強請せしも金は自宅には現[illegible]出すべしと迫るより止むなく赤[illegible]金たる旨答へたるに賊は成圓を洞[illegible]十圓を渡したるに成圓の著衣に入れ[illegible]

◉紅い寶石のやうな 櫻んぼ

△百匁入一箱廿五錢位▽

□頃日の市中ではよく櫻ん坊賣りの可愛らしい鮮童を見ます

□「ポッチ、サーリヨ!!〳〵!!」といふ振れ聲のものもあればまた遠慮相に門口に立つ少年もあります

□紅い黄色い寶石のやうな櫻ん坊の圓い實は、お伽噺の女王の冠につけたい程で、それを買ふお客がまた可愛らしい小供であるのも興趣深く思はれます

□京城附近では主に花の牛耳洞加五里あたりから持ち出されるやうですが大きな西洋櫻ん坊は主に龍山附近から參ります

□街の果實店で賣つて居るのは折詰一箱百匁入りが廿五錢位ゐ、露島の櫻ん坊はまだ遲れるやうです

◉男七割女六割

□南大門學校の齲齒檢査

南大門小學校にては總督府醫官の手により全校兒童の齲齒檢査を行ひました、その結果男子は一年生から三年生まで合計三百六十二名の中患者數二百六十六名、即ち七十七パアセントに當ります、また女子は一年生より六年生まで合計六百九十三名中患者數四百五十九名、即ち六十六、二パアセントに當ります、齲齒は小供の健康に大關係がありますから平素から食事後やお菓子の後は能く嗽をするとか、肝要です

◉今を盛りの花菖蒲

◎此の二日つゞきの五月雨に花菖蒲の花が盛りよく咲き出しました

◎花菖蒲の花は此の二十日頃が盛りと思はれますが斯う雨つゞきなれば案外早く咲きそろひませう

◎京城附近では驛前の百花園と龍山漢江通りの採花園が花の名所となつて居ます別けて山縣督官邸前の菖蒲が一番かと思はれます

◎色は純白、紫色、絞りなどありますが生花には水揚げの手數も要らず容易に生き〳〵と花をもちます

◉盛會なりし送別宴

[illegible]岡田信利氏の送別會は十四日午後六時より京城ホテルにて開催、席上豐永博士の挨拶に次いで岡田氏の謝辭あり非常な盛會でありました、猶ほ出席者には蓮見高等法院判事、森安博士、林東拓理事、小田醫科課長、平田仁川觀測所長、秋山視學官、阿部本社社長の人々を始め教育者側の人々が來出でした

□臺所その日〳〵　めちや吉

成合社に同じ机に並んだ二人の男、一人は新婚旅行から歸つて間のない日君。一人はこれも理想の家庭を作つて未だ仕事も手に就かないM君。お互いに思い出しては二ヤ〳〵して居たが、不思議な事にこの二人のお辨當のお菜が、毎日〳〵割符を合せた樣に同じもの。一方に海老が入つて居ると一方にも赤い海老が居る、『今日は筍だ』『イヤ僕もだ』と毎日此うだ。不思議だ〳〵と、或日M君が家に歸つて實はこれ〳〵だと妻君に向つて說明を求めると妻君の曰く『H樣の奧樣もやつぱり京城日報の臺所その日〳〵を見て居らつしやるんですか』

◉ベヤード夫人

二十餘年朝鮮に在りて夫を助け平壤崇實大學の基礎を作つたベヤード博士夫人は久しく病氣で臥られましたところ[illegible]十日逝去されました。葬儀は十二日午前十時から平壤西門外なる博士邸にて執行せれましたが何分にも生前永い間の知人が多きこととて米國宣教師、内鮮人知人、崇實大學校、崇實女學校生徒等約一千餘名の會葬者でした。夫人は多年博士と共に教育事業に盡くされた外鮮文によつて記された信仰に關する著書も公にされまして平壤のたれからも敬愛されて居ましたのに洵に惜しいことでございます

神社と教會とお寺

○金光教會（龍山）十六日午後二時より國立記念祭あり午後八時からもあり

○高野山教會（龍山）十五日午後二時と八時とから弘法大師の降誕會あり

○天理教々會（新龍山）十六日夜[illegible]町布教所にて婦人會開催

○聖公會（南米倉町）十八日午前九時早朝祝祭禱會式午後八時典禮說教ありシシプサン氏の主宰なり

○西本願寺（若草町）十五日午後七時より開山上人の御逮夜あり

○東本願寺（南山町）十六日より十八日迄三日間三日講執行終つて說話說教ある筈

○成身院大佛五年祭 十七日午後七時より執行御詠歌及び說教あり

○妙心寺（長沙洞）十五日午後より施餓鬼と說教あり

─△會いろ〳〵▽─

□小學校教員會 府内各小學校五年生受持教員は來る十七日午後一時より龍山小學校にて協議會を開く

□南大門小學校同窓會 十八日日曜午前十時より男子卒業生の同窓會を開き茶菓の饗應あり五分間演說餘興等ある由

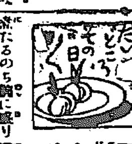
□中學校々長會議 二十一日午後一時より京城中學校に於て京城各中學校々長會議ある筈

□京城神社月次祭 十七日午前八時半より

□英語倶樂部 十六日午後七時半より京城基督教青年會にて開催アツカー氏の講演あり

□聖公會婦人會 會館に於て昨十四日午後一時より婦人會を開き仁川聖公會の西田先生の有益な講話ありたり

□婦人聖書研究會 十七日午後一時より旭町二丁目牧師館にて婦人聖書研究會あり



▣鮎の白味噌汁 鮎を片身づゝにおろし之を小口より適宜に切り白味噌七分に赤味噌三分を加へて汁をつくり鮎の切身をいれよく煮たるのち碗に盛り吸口には粉山椒少々入るゝなり

◉大岡進氏の結婚

明治四十年以來鎮南浦病院長となり只今京城櫻井町一丁目に婦人小兒科病院を開いて居られる大岡進氏は、[illegible]土浦の酒造家矢口銀次郎氏令妹きよ子さん廿三歲と婚約整ひ此の程日比谷大神宮に華燭の典を擧げられました

◉石塚右玄氏の來鮮

東京石炭食糧研究所の石塚右玄氏は朝鮮人及び滿洲人の食料研究の爲めに來る二十二日東京出發京城に來られます氏は朝鮮の泥土を食べる特種住民に就き多大の興味を有つて居られるやうですが又人間は食物に由りて容貌性質が異ふとの例を擧げて甘藷や南瓜を好む人は手足肥大果物好きな人は咽喉が細く肩がこけるなどと語られました

番茶のあとこ

▲犬好きの井口牧師は頃日白の蒙古犬を貰つて大悅びで居られます▲今日も雨の中を平氣で犬と一緒に大ニコ〳〵、御覽の通り此の犬は人の恐れる猛犬ですが家では大層よく馴れました▲西洋にはこれと同じやうな狼犬のデイアハントといふのがありますが蒙古では馬よりも牛よりも大事な家畜となつて居ますと頭を撫でたりさすつたり▲犬は總督邸に生れた五匹の仔犬の一つだ相です

◙珊瑚礁島の椰子の樹陰より

□マリアナ群島中のラサ島事情□

□南洋のラサ島といふのは横濱から南一千二百六十哩のマリアナ群島中の大島となつて居ます

□島は火山島に屬する珊瑚礁の一つで周圍には丈高き椰子樹が深碧の海に影を浸して居ります

□此の島には大きな一つの燐礦があつてそれを經營する健氣な日本婦人のあることは皆さんのよく御承知のことであります

□島の温度は一年中九月が最も暑いのですがそれでも室内は八十度内外、絶わず椰子の葉を戰がせる涼風の爲め生活は極めて容易であります

□島の土人はカナカ族とチヤムロ族との二つがありますがカナカは常に裸體のままの原始生活するのに反しチヤムロ族は文明人同樣の生活を致して居ります

□昨今月影清き椰子樹の樹立に、土人の床高き椰子葺家に坐ります、海原から吹き送る風が非常に涼しく土人の吹きならす笛の音など殊に興趣深く聞かれます

□植物にはパインナツプル、パンの樹、バナナ等が繁茂し路傍到る處にこれ等の果實が累々として垂れ下つて居るのは洵に南國の幸を思はせます

□島には日本の守備隊及び電信所等もありますがラサ島土人の村の人口は約三千人ばかり南洋切つての大都會であります

□蛇は絶對に棲息しませぬが唯だ三四尺の大蜥蜴が居ります、併し人畜に危害は加へませぬが隨分薄氣味惡き動物です（椰子樹陰にてK生）

商況

東京株式特電

十五日 前場寄付 [illegible] 大引 [illegible]

日本郵船、東京瓦斯、東京鐵道、[illegible]（數値 [illegible]）

債券現物特電

十五日出來値段（前日との比較）[illegible]

公債直取引

東京 十五日川本直段（前日との比較）九五、四〇 [illegible]

深川在米特電

十五日前場在高 [illegible]

東京期米特電

十五日前場寄付 [illegible]

大阪期米特電

十五日前場 [illegible]

大阪株式特電

十五日前場 [illegible]

大阪三品特電

十五日前場 [illegible]

下關期米特電

十五日前場 [illegible]

雜報

◉銑鐵類依然強固

銑鐵の我國に於ける需要額は約十五萬噸内外にして内六百萬噸は國産に待ち殘る大部分は英國支那等より輸入しつゝありしに歐洲戰亂の開始さるゝや内地需要額は約二倍に增加したるに拘らず輸入は却つて反對の現象を呈し英國よりの輸入は全く杜絶し印度其他よりは辛うじて今猶輸入しつゝありと云へども是亦船腹の不足と運賃の暴騰とに依りて[illegible]

◉餘儀なき市價の大暴騰

[illegible]

◉約三倍の高値

[illegible]

◉石油と前途

[illegible]更に第二の手段[illegible]

◉期米頭重し

[illegible]

◉施迎相當に値下げ發表すべし

[illegible]

◉鹽鯖は不味

[illegible]

◉明太魚産地高

[illegible]

下關相場

[illegible]

行賀仲買店

仁川 [illegible]

京城正米

[illegible]

京城雜穀

[illegible]

南大門の廻穀

[illegible]

仁川現物市場

[illegible]

釜山市場

十三日 [illegible]

生魚市場

[illegible]

田中金六商店

[illegible]

仁川期米

▲十五日前場 [illegible]

▲一錢高の入電

[illegible]

▲一節八十四錢の形

[illegible]

▲瓦落と保合の裡

[illegible]

市場零聞

▲前場大變動

[illegible]

▲形勢稍一變

▲新規大買物

[illegible]

▲人氣は依然賣り逸れ

▲前場の手振

[illegible]

三巳仲買店

[illegible]

▲人氣動搖す

[illegible]

▲軟派の活動

[illegible]

▲賣人氣も茲に躊躇す

[illegible]

▲降雨過多

[illegible]

▲零二日の降雨は腐敗

[illegible]

▲夏天災

[illegible]

▲下げ止り乎

[illegible]

▲渡し米に就き

[illegible]

▲釜山に於て買付

[illegible]

▲仁川沖著十一圓四十錢

[illegible]

▲其他沿線買付品も追々廻著

[illegible]

▲在來種沖著十一圓四十錢神力種同十一圓七十錢

[illegible]

仁川米豆取引所

十五日の八月限

前場	寄付	高値	安値	止め	出來
一節	十一圓七十四錢	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二節	十一圓[illegible]				
三節	十一圓[illegible]				
四節	十一圓七十[illegible]				
五節	十一圓七十[illegible]				

賣買取組高 六月限 千四百五十石 七月限 三萬三千五百五十石 八月限 二萬五千百五十石

十四日後場 前日と較比 [illegible]

北濱だより

▲阪神株

[illegible]

▲滿新株

[illegible]

時間正確 新案 實用 大阪西區北堀江御池通六丁目長尾商店呉服部は顧客に誠實安價なるを撰み爲利害を顧ずセル地新柄流行品質優美高尚一見高價なる舶來品と見分難き別製品一反只の二圓二十錢同甲二圓六十錢甲上三圓二十錢尚本年新流行浴衣セル一反僅か一圓五十錢其上各一品毎に前記圖の如き十六形時間正確實用新案日光懷中時計及鎖メタル三景品を無代添附すると云ふ類因に本紙愛讀者で望みの方は「ハガキ」にて男女年頃を記し同店へ申込ば柄合見計ひ親切に荷造の上代金引換送料實費にて送附し萬一現品本文に相違する時は無割引他品交換又は送金すると云ふ由なれば安心して注文するを得らるべし 此品無代進呈

毎月丸 月やくぐすり
月やくを通し子宮病を快治す 月經不通を快く通じ 月經不順を快く調へ 月經困難を快く治す
■月々經水の日定まらず或は多きに過ぎ、不同の人、又月經時其前後に異情あり腰又は子宮部に疼痛或は痙攣ある人其他月經不順、月經不通より起る症○逆上強く頭痛めまひ○目かすみ耳鳴り鬱ぶり○食物進まず氣分鬱ぎ腰、下腹に痛ある諸症に特効あり常に持藥とせば月經の異動を調へ惡血を下し、便通を心よくし、子宮病に罹る憂なし。
價 二週分 [illegible] 本舖 大阪東京 丹平商會藥房 尚ほ全國到る處の藥店にあり

今般本町二丁目に住辰氷店開店致候處右は小生と何等關係無之候間此段廣告候也 大正五年六月十二日 京城南米倉町十五番地 住竹號 鳥野竹造

登錄商標 瓢水味淋 堺 嶋藤釀 專賣店 京城本町二丁目 前田酒店

い病で困る人 永年難治の胃病も忽ち効能ある家傳秘方の妙藥を同病者へ告げ分與致す者は往復端書で申越あれ詳 兵庫縣美囊郡淡河下村 藤本初三郎

宇治製茶直接販賣廣告 一相場の如何に不拘宇治製本場特製品を以て正價を以て親切を旨とし廣告と現品と表裏なき事 三遠方及荷造を嚴にし速に需に應ずる事
御茶銘並に定價表（各一斤百六十匁に付）
玉露之部 千羽鶴 金五圓 鶴の齡 金三圓 老松 金二圓 寒竹 金一圓五十錢 白梅 金一圓二十錢 高砂 金一圓 ...
煎茶之部 富士 金九十錢 大尾 金八十錢 池の園 金七十錢 ...
正喜撰 金六十錢 喜撰 金五十錢 青柳 金四十錢 川柳 金三十錢 ...
[illegible]
正價より特に五歩引仕候 堀井園販賣手續 ●右之外御注文に應じ何品にても調進仕候 ●御茶銘代金口座へ依り御振込か代金引換小包郵便にて御送附致候 ... 山城長池郵便局區内青谷村 全本店 堀井園 堀井喜之助

日ノ出向鳥印帽子 [illegible] パナマ帽 [illegible] 各地有名なる帽子舖賣店に有 [illegible]

株券交附公告 一交附八六月十五日ヨリ 一引換場所ハ朝鮮在住ノ分ハ釜山本社（朝鮮釜山榮町二丁目二番地）内地在住ノ分ハ東京出張所（東京市芝區新櫻田町十九番地）一郵送ノ場合ハ第一回拂込金領收證ニ郵税金拾五錢、朝鮮内ハ金參拾錢添附ノコト 大正五年六月 朝鮮輕便鐵道株式會社

比較は最良の撰擇法なり！ サクラ正宗 サクラ正宗 京城明治町一丁目 山邑京城支店 電話 [illegible]

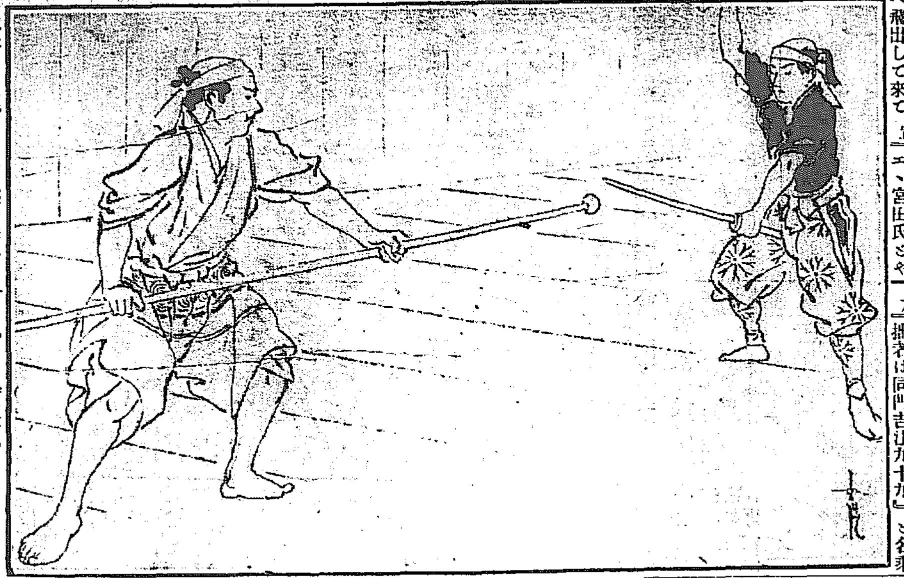
★ 資本金五百萬圓 頭取 安田善三郎 株式會社百三十銀行京城支店 京城本町壹丁目 電話 [illegible] 銀行一般の業務精々御便利に御取扱中候爲換取組先は内地各方面並朝鮮樞要の地に有之候

宮本武藏

第七十回

桃川如燕口演　浪上義三郎速記

澤田一角之を見ると大いに怒つて『誰か外に出て對手をいたせ』といつたが誰も出る者がない、所へ立歸つて參りました松田軍次郎に吉江九十九の兩人『ヲヽ宜い所へ歸つて來た御兩所出てアノ修業者と立合つしやるやう、實は是々斯々で外に出る者がない』軍『宜しうござる拙者が一本立合ひをいたしませう』と其へ飛出して來て軍『エヽ宮田氏とやら拙者は四天王の一人松田軍次郎、一本お對手をいたす』望む所の四天王と宮本先生武『拙者は宮田武介、お手荒に御指南を願ふ』といつて立向つた、之が少し間違つて居る、お手柔かにといふが普通だのにお手荒に願ふといふ、イヨ〳〵此奴慢心して居る、小癪い目に逢して呉れやうと松田軍次郎、向ふも面籠手を付けんから此方も素面素籠手、木劍を取つて其へ向ふ軍『宜いか宮田氏』武『御念にや及ぶ』エイッと一聲、眞向から打込んで來る松田の木劍、心得たりと宮本先生ポーン〳〵ポーン二打三打打合たが松田軍次郎も岸柳四天王の一に數へられるだけあつて仲々の技倆、前の二人の類でない、なれども宮本先生の目から見れば小兒同然



打込んで來る木劍を撥潜つて手許へ飛込み利手をポーンと一つ打つたから、ハラリ木劍を取落す、ハッと驚いた松田軍次郎一足後ろへ下る所を飛込んで肩を一つ打た、面を打てば目を眩してしまふから肩を打た、けれども肩でも宮本に打たれて何條堪るべきガックリ後へ倒れて軍『參つた』と聲を上げる、入代つて吉江九十九『拙者は同門吉江九十九』と名乘つて置いて木劍振上げ、ヤッといふとガラ〳〵ガラ〳〵打込んで來た、左知つたりと宮本先生ポン〳〵ポン〳〵打合つたるが此吉江も頗ぶる技倆、武『成程岸柳の門人は能く出來る、流石四天王といはれるだけあつて感心だ』と考へ乍ら打合つて居る、此方は一生懸命だ、之だけ段が違ひます、打込んで來る吉江の木劍を體を開いて空を打たせ、ノメッて來る所を横に一つ刎拂つたから腰を打たれて横ッ倒しに轉がる、殘念なりと吉江九十九が起上らうとする所を踏込んで木劍の尖を顏の所へ當行ひ武『如何でござる』九『參つた』之は參つたに違ひないから眞劍なら首のなくなる所だ、兩人の樣子を見て澤田一角怒り心頭に燃立ち一『若年乍ら頗る技倆、イデ此上は澤田一角が對手をいたし、其小臆は打折つて呉れんず』と支度をいたし木劍を携さへ其所に躍出で一『サア修業者此上は一角が對手いたす』松田吉江の兩人見苦しき敗れを取つた當座の敵、觀念さつしやい武『望む所の師範代澤田一角、イザ來い來れ』と一足退つて木劍を中段に構へる、一角は八双の大上段に振冠りジリ〳〵と進み寄る、武藏は一角の樣子を見ると前の兩人よりは亦一段上手だ、流石は師範代だけある併し武藏の目からは未だ〳〵小兒だ、エイッと氣合を懸けて眞向から打込んで來た澤田の木劍、ヒラリ體を轉じて空を打たせ、再び打込んで來るをポンポンポン受流す、澤田一角も一生懸命、打負けては道場の恥辱と一心得たるから息も吐かせず蟲み懸けて打込んで來る打てば開き開けば突入り七八合は打合つたが神變不思議の宮本先生に何條及ぶべき、一聲懸けて飛上つた武藏正名エイッと一つ打込む木劍、一角の右の腕を打つたから木劍は手を放れて宙に飛んだ、南無三と驚いたが一角大膽不敵な奴、飛退るといよ〳〵道場の長押に懸けた蒲公英槍を押取り一聲叫んで突いて懸る、宮本驚いた、強情な奴もあればあるもの木劍を落したら今度は槍を持出した、大膽な奴だと思つて居る所が澤田は劍術より槍の方が得意だ、流星の如く槍を扱いて宮本を望んで突懸る、心得たりと宮本先生木劍を取直して槍先を拂ひ、手許へ飛込んで打たんとする、一角は手許へ入れじと一生懸命槍を揮つて突いて懸る、面倒なりと宮本振上げた木劍、エイッと一つ槍の柄を望んで打つと樫の木を以て造つたる槍の柄三尺許り切折つた恰も飴を切る如く。

西洋料理アイスクリム、ハイカラ丼　おいしい京城第一との高評を博し居り候　南大門通　電話二五七一番　カフエータイガー

入院隨時　旭町三丁目十三番地　若槻內小兒科醫院　電話二四六二番　ドクトル　若槻寛隆

六月十七日九星　舊五月十七日乙酉　本命六白乾卦兌宮

●六白　氣忙しく物遣まりの事有り新事見合南方は[illegible]　●七赤[illegible]　●八白[illegible]　●九紫[illegible]　●一白[illegible]　●二黑[illegible]　●三碧[illegible]　●四綠　不進不退の日なれども[illegible]　●五黄[illegible]

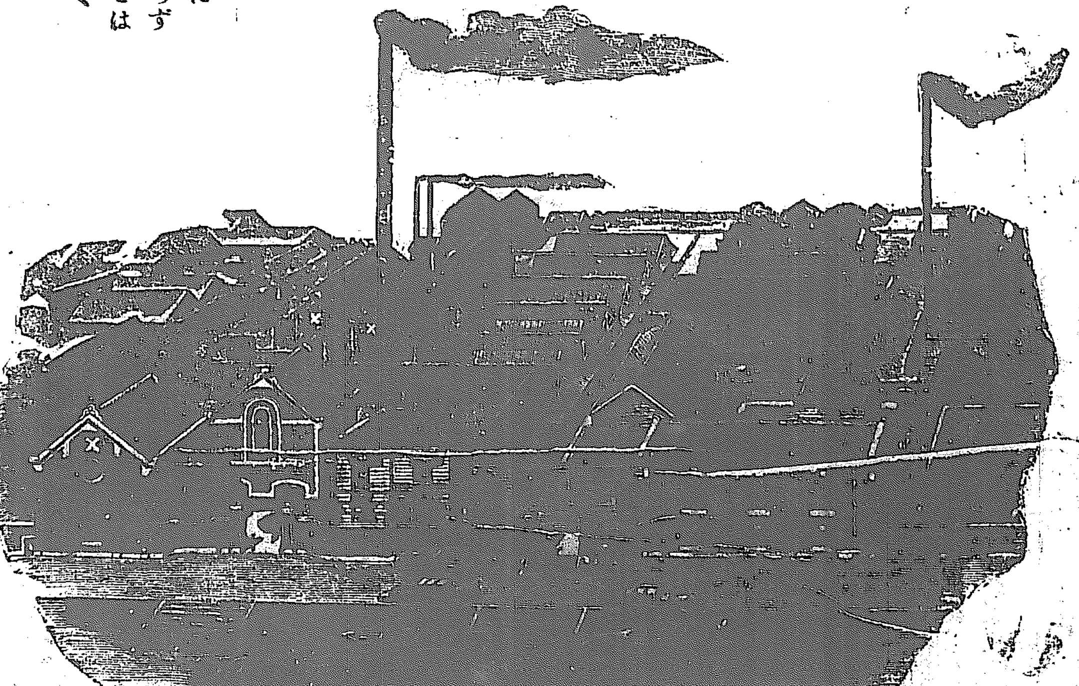
花王石鹸

我れに良品を與へよ
而して價を廉にせよ

之は東西古今を通じて渝らない需用者の要求であります。そして社會が經濟的に緊張すればする程、此の要求が強くなつて參ります
現在我が國に於ても高價なる舶來石鹸が漸次に廢れて、品質本位の花王石鹸が逐年驚くべき需用の増大を告げつゝあるといふ事實があります。僣越ながら品質本位の花王石鹸は二十有餘年來徹頭徹尾廉價なる良品を以て任じ品質に於ては絶對の純良を期し、價格に於ては極度の廉價を保つて居ますので
帝國陸海軍、帝國大學、赤十字病院、慈惠病院鐵道院等の嚴密なる化學的試驗を經て多年採用せらるゝは勿論、輓近南洋、印度、露國等にまで歡迎せられて世界的廉價の良品と目さるゝに至つたのであります。猶ほ近頃の物價暴騰に際して花王石鹸が優に其の面目を辱かしめないものは、啻に完備せる工場を有し豐富なる原料を蓄藏せるのみならず豫ての御愛顧に酬いんとする一片の苦衷が存することは素より賢明なる需用者各位の諒察せらるゝ所なるべく
かくて品質本位の花王石鹸は

理想的日需品として益々
御愛用の程を切望致します

花王石鹸製造所全景



花王石鹸製造元　東京馬喰町　長瀬商會
關西代理店　大阪安土町　大崎組商會

どもり　專門○十三箇年　實行有功　○年中無休○委細面會　直接及通信　信毅正○　○大阪江戸堀下通三　帝國吃語矯正會　報價五錢

りん病　消渇で困る方　多年の慢性も
自宅にて人知れず安全秘密に治癒す良藥あり只一劑を試みよ切手三錢送れ其良藥と自宅療法の詳細を報す
名古屋市南かじや町　武藤龜吉

本院　京城支那領事館前　電話一五四一番
分院　南龍山鶴壽温泉隣　電話一二一一番
診察　京城午後自一時至六時　龍山午前自八時至十一時
中村耳鼻咽喉科醫院

かつけには尾崎糠精
村井弦齋先生命名實驗證明　販賣元　東京中澁谷町　尾崎兄弟商會　全國藥店に有

營業品目
肥料部　蒸製骨粉、乾血、蹄角粉、星印配合肥料、細工用地骨、細工用蹄角各種膠及膠原料
石鹸部　化粧用石鹸、工業用、家庭用石鹸、浮石鹸、粉末石鹸、牛脂、椰子油、鯨油、其他油脂類、苛性曹達、洗曹達
京城東大門外紅葉町　朝鮮肥料製造所　電話二六三五番
京城岡崎町一四番地　朝日石鹸製造所　電話二五六四番　電話九七三番　振替口座京城四〇〇番

大邱覆審法院通譯生　山之井麟治著
再版　訂正増補
鮮語熟語解釋
●四六版●二百餘頁●定價五十五錢●郵稅六錢
玉村書店發行
●解譯自在●習慣窺知●事務敏捷●携帶至便
本書は鮮人と文書類の往復、受授を爲し又は鮮人の提出に係る訴願、請願、屆書等に對して處決を與へらるべき地位にある人にして、未だ朝鮮の熟語、俗字に通せず、爲めに一々通譯に付せしむるの煩を除かんとする者を以て刊行したるものにして、從て未だ普く知られざる、朝鮮の風俗、慣習をも容易に窺知し得るの目的に於て聊か他書と趣を異にせり、本書は文獻、備考、禮書、大典會、通有名なる會話篇、古代詞訟書類、其他趣味ありと信じたる朝鮮雜書數十卷を參考として二千三百餘語を蒐集し之に一々明細なる解譯を施したるも、尚不備を補ふ爲書込欄を設けたり、著者の本書の爲に年を費す事一年有半、原稿を改むること前後五回、斯道名士の嚴格なる校閲を經て確に完成する事を得たり、本書には吏讀の讀方、譯方あり、尚朝鮮文の天爾遠波譯方をも附錄として添付したれば、何人にても本書により普通朝鮮文を讀解するを得
發賣元　京城太平通壹丁目　振替京城三〇〇番　京城日報社代理部
大取次所　大阪屋號●日韓書房●巖松堂

京城日報
十六日朝刊（夕刊と合せて八頁）
本紙定價　一部金四錢五厘　一ヶ月金壹圓　三ヶ月前金貳圓七拾錢　六ヶ月前金五圓二十錢
廣告料　五號活字一行金七拾錢　特別指定は五割增
發行兼編輯人　奧田直毅
印刷人　小川三之介
發行所　太平通一丁目　合資會社京城日報社
電話　編輯二六〇・營業一二〇〇番　振替貯金口座京城三〇四番

△後場の振　十五日後場　大阪三品　中限　二二〇五　先限　二二五八　二二九二
十六日後場　安値に寄付たるも買物多く漸く七十一錢と跳ね返したるが大阪止五十三錢と西安入電に接し六十六錢と押したるも買物益多く遂に七十錢丁一萬九千餘石
正米　大豆　二〇三七一　白米　二〇六六　小豆　三八九七　七四〇

京城日報
聯合軍の計畫

此度の英國陸軍大臣キチナー元帥遭難の報傳はりて全世界國民を驚かし且つ元帥の使命は露國に赴きて軍事上の某重大事件を處理するにありと云ふに於て、其遭難が聯合軍の計畫の上に何等かの齟齬を生せざるやを懸念する折柄、佛國內閣議長ブーアン氏以下若干內閣員及び佛軍總司令官ジョッフル將軍倫敦に赴いて英國內閣員と協議を盡したりといふ報道あり。蓋し英佛露三國間豫じめ緊急相會商するの要あり。キ元帥遭難渡露を果たさゞる爲め佛國軍事首腦を擧て倫敦に急行せるものならむか、英佛露諸國の總計畫の何ものたるかは、今茲に之を衆示する能はざれども、豫てより此七月を以て全戰線に涉る大決戰を開始し、一擧して戰局を定むべしといふ意見あり。連合國側にて專ら兵器軍需品の調達に努め敵の挑戰頻々たるに拘はらず、徐ろに時機の熟するを待ちたるは、或は此邊の方案ありて存ずるが爲めなるべく、就中英國は專ら兵員の徵募に力め、躍如として大に用ふるの時の至るを竢ひつゝありたるは、何人も善く知るところなれば、キチナー元帥の在ると在らざるとを問はず、其大計畫大策動は遠からずして實現せらるゝものと見ざるべからず。

近頃北米合衆國民は、平和回復の時期近づけるものとなし、財政家實業家共に媾和以後の經濟界に處するの準備に忙はしと稱す。又近報英國コンソル公債の甚りに騰貴するを見て、或ものは北海海戰の勝利の爲めなりとし、或ものは平和回復の見込み立ちたるに由るとなす。英國人の心證何れにありや、今判斷しがたしと雖も、北海々戰の爲めに一昨年來下落に下落を重ねたるコンソルが騰貴すべしとは思はれず。

然りと雖も此大戰役は大決戰なくして終結すべき道理なきなり。平和回復の時期に近きたりといふは、其先決問題たる大決戰に近きたるとを意味するものと解するが當然なり。之を最近の事實に稽ふるに、昨年以來獨軍の地位に立ちたる露軍遙かにガリシアに奮闘し、墺洪國を一方に窮迫ならしむるもの〔illegible〕すや〔illegible〕の時期に進むならむ。

ものならずや。若し英軍にして大策戰を開始するあらば、歐洲戰線に於て新面目を開くものあるや論なきなり。今日獨軍ヴエルダンを攻擊するを甚だ急にしてドアウモン、死人山三〇四高地ヴオー諸堡壘を占領し、朝に一塁を拔き、夕に一塹を衝くといふ有樣なり。墺軍の伊太利に進入したるも、亦連合軍長く守勢を保ちて動かざるを恃みたるに是れ由る。故に若し連合軍にして、早きに及びて總攻擊を開始し、急攻力進するあらば、敵軍の作戰計畫は此に挫折せざる可からず。

金剛山寫生　平福百穗

△九龍淵に踵を返して岩角を攀ぢ登る事約十丁程で、絶壁の上に這ひ出る、八潭の勝も九龍淵の銚子口も目の下に瞰下す。

露國の對外貿易（中）

亞米利加は從來露國との貿易關係密接ならず、露國の市場及び商習慣等に通曉するもの少なく、隨つて常に對露關係は傳統的に振はざりしが今や漸く露國の注文を受け容れむとする傾向を示し來れり。然れ共注文を受くるに當りては注文品全額の支拂委任狀を要求し何等の懸賀を許さゞる條件に於て注文に應じたり。然るに露國商人の爲めには最も苦痛なる條件なりしに亞米利加人等は露國の商業界を實地に相識るに至るや、其の態度著しく柔順となり、露米貿易關係發進の道程は今や露國側貿易商の爲めに以前に比して幾分困難の度を減じたり戰爭終局後は露米間の貿易關係は必ずや好望の時期に進むならむ。

戰爭前までは內外の諸新聞紙上に於て日本商人の不親切に就いて又は貧質の不良なる、或は贋造的貨物を提供せむとする傾向ある事に就きて屢々之を見聞せり。然れども今日露兩國間に發展しつゝある商業關係は必ずしも斯かる報道の事實に非ざることを表はせり。日本の各大商舘の如きは何れも全く賞讚に値ひすべきものなり。日本の商舘は代金支拂の方面に於ても能ふ限り露國商人の意嚮を迎へて諸種の便宜を提供し、戰爭が露國の商人に及ぼせる幾多の難障を斟酌することを怠らざるなり。目下は世界商船の船腹不足して世界商業界の要求を滿足せしむること能はざる情況の下にありと雖も、日本の商舘は契約の期限を運へず、見本

騙つて之を日本に就て見るに日本は遙かに大なる準備を以て露國商業界の需用に應じ現下の時機に於て最も昔重す可く且つ感謝す可き吾が善隣國となれり。日本の好意は固より彼の爲めに甚だ有利に酬いられつゝあるも、概して實業上の關係は兩當事者間に等しく有利となるに於て始めて鞏固となり、有望となる可きものなり。而して日本の商人は悠々として餘りに支拂ひを追窮せざるのみならず、能ふ限り露國商人の立場に同情し一度び取引關係の成立したる上は其處に一種の情誼を育むを常とす。

通りの貨物を供給しつゝあり。日本は又その未だ知られざる各市場より貨物を誘導して之を露國に提供する事によりて貿易の仲介國となれり。一部の露國商人等は是に依りて複雜なる交涉と餘分の費用とを免るゝ次第なれば大に斯る事情を以て滿足となす者もあり。併し乍ら露國商人の中にも其の最も有力なる者は依然として原產地と直接の交涉を結びて凡ての仲介業者に依頼することを避けむとする傾向あるは否む可からざるの事實なり

內地臺灣所觀

漢城銀行專務　韓相龍

七、內地視察の感想

予は曾て八年前內地に遊び、著名の地を歷訪し、其文化の高きに感歎せしことあり。爾來八年の星霜を經たる後、再び內地視察の途に上り、下關より東京に至る汽車沿道を車窓より望見せしに、人家殆んど軒を聯ねて人煙倍々稠密となり、且つ觸目の山岳丘陵樹木鬱蒼として淸新の氣に富み、立木なき山腹丘陵は耕して茶園或は桑園となしたる向多し。這は人口繁殖の程度旺なる內地にありては其增加に伴ひ自然の結果たらむ。歐洲戰亂の影響に依り到る處工場簇出し、煙筒より吐出す煤煙の燦んなるを目擊し如何に內地の諸工業の勃興隆盛を來したるかを想はしめ前年觀察同時に比すれば其發達の迅速なるに一驚を喫せり。而て都會と地方とに拘はらず、貧富の懸隔少なく、富の分配平衡を保つの狀況あるは國家經濟上最も悦ぶべき現象なりと思惟せり。然れども文化の進步に伴ひ、生存競爭の刺激は一般に普及し浮華遊逸の風なく質實努力の傾きを生せり。殊に繁華の都市は其の色彩の濃かなるを覺えしむ。例へば途中往來者は寔も悠々として步行するものなく、孰れも馳走し時間を空費せざらんとを勉め居り。又停車場の如きは旅客の出入、貨物の運搬頗る頻繁にして、實に肩摩轂擊の狀を極め分秒の時間を爭ふの光景は恰も戰時狀態を見るが如く、一笠の煙管を擇りて悠然濶步する小兩班の多き朝鮮市街に較ぶれば、其對照雲泥の差あるを感ぜしむ

而して一般內地人の朝鮮人に對する感想全然一變せしには予は寧ろ快を叫べり。曾て統監政治當時と雖も我等鮮人が內地旅行の際は外國人視して一種猜疑の眼を帶びたる樣にも見ゆれしも、今日予が內地旅行に付途中各方面に於り、事情を問へば、何人も懇懃に教示の勞を採り是れ、聊も其扱ひを異にせざるのみならず、遂る叮嚀親切を竭し、往年東上の時に比すれば實に隔世の感を覺えたり故に國語を解せざる內地旅行には少しの不自由なきを認む。予は如此像想外なる民情の溫きと日鮮同胞一家の觀念が、內地人に刻まれたるを感謝し、恰も自家に入りたる心地せられ、窃に一視同仁の聖慮優渥なるを諒して拜謝せし所なり。

京日詩壇

○讀紫峰品藻卅四篇　圓山　牧雲

逝望美人天一方。尤驚詞彩發奇光。佳篇卅四串珠玉。深感友情依舊長。
韓山遼水漫怱忙。杖鉢由來不識方。儔否牧雲蓬上月。只分淸影照孤林。

○夢後有作　古城　梅溪

年年添得鬢霜新。搭笑蓼蟲又忘辛。兩褸草鞋徒踏破。幕寒無伴憶佳人。
評曰　情珠圓轉。衝口而出
去歲家慈沒。依稀侍膝前。新墳入掃否。夢繞故山邊。
評曰　句短情深

○同　上　高田　小井

縹緲孰衹膺太空。那仙環拱紫微宮。天蕭鷲破人間夢。此笑黃粱一夢中。
評曰　幽情逈出。禪機自來

○同　上　齋藤　三貢

滿聲沸湧動鱗鬣。迸戰雲來萬里風。二十年前豊島事。夜深入夢使人雄。
獨避塵囂無所求。餘生唯任世波流。昨宵夢上富峰頂。笑拭吟眸小五州。
評曰　前首壯快後首登僊

朝鮮總督府
一洗市（白上等檻褸）貳千壹百貫匁
右賣拂ス詳細ハ六月十五日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ

物品拂下
第一號　本府及竹屑外參點
第二號　古制服類拾五點
右來ル六月三十日龍山倉庫渡ニテ入札ニ依リ賣拂ス詳細ハ六月十三日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ルヘシ
大正五年六月十四日
朝鮮總督府鐵道局

最正確最完全の　一厘錢鑑書　現
古錢
改正いろは別古錢價格表錢圖六百餘種、全部石版摺定價金卅錢送料二錢
發行所　大阪松屋町　博物北村文翫堂
振替大阪一六二六〇番　御買特別割引

寫眞機　寫眞材料
京城明治町二丁目
長崎屋商店
電話二二二〇番

新刊書御案內

書名	著者	定價
◎近世鑛物精義	北爺外一	二、五〇
◎實用鑛物學講義	岩崎　重三	四、〇〇
◎鑛山實地測量術	高橋　謙藏	一、五〇
◎實用岩石分析地質表	岩崎重三	二、〇〇
◎採鑛學　上	山口　義勝	二、五〇
同　下	同	三、三〇
◎採鑛設計	內田政五郎	一、七〇
◎鑛山測量術	今泉嘉一郎	一、五〇
◎鑛床學	山口　義勝	二、一五
◎鑛產物工業分析法	松木勝三	二、八〇
◎金鑛製錬法	細井岩彌	二、五〇
◎鑛物工業試驗法	齋藤　正次	一、〇〇
◎日本鑛石學石炭篇	岩崎重三	二、八〇
◎同　金篇	同	二、五〇
◎同　銀篇	同	二、二〇
◎通俗鑛山學問答	神田房之助	八五
◎實用鑛物鑑定及分析便覽	高橋	一、五〇
◎タングステンとモリブデン		六〇
◎朝鮮の金鑛		一、〇〇
◎朝鮮鑛業出願者必携		六〇
◎日印文對照　朝鮮鑛業令		六〇
◎訂正增補　鑛業令講義	篠田　萬	一、二〇

大阪屋號書店
京城本町　電話一〇八六　振替京城二九七三番

三叉竹越與三郎先生著
增補訂正
二千五百年史
菊判總振假名付　八百卅頁の大冊　定價金貳圓拾錢
特價貳圓
建國より幕府の衰亡に至る二千五百年の史記、骨は文明史、肉は編年史、血は紀傳史、脈は哲學史、記述の筆は簸活明快、炬火の如き眼光、衡量の如き批評、政治、文學、英雄、美術、思想、宗教、社會風俗の變遷、參差錯綜の妙を極む。國民古今のパノラマ此にあり、東西を融化せる日本文明の一大產物、日本歷史の大典此に備はる。
內容見本　往復葉書にて申込次第進呈
賣捌　京城本町一　電話六八九・二〇八六番　振替二五七三番　大阪屋號
東京牛込佛方町　振替四七一〇番　二西社
（同店　釜山、大連、旅順、鐵嶺）

てぐす・釣具・卸問屋
大阪市西區靱南通五丁目（電話土佐堀一五九三番）
無限責任　日本磨テグス製造會社
（寫眞版入直段表御一報次第進呈）

村井弦齋先生發見
胃腸病胃癌妙藥
タラコン湯
藥價　一週分一圓（送料十錢）　二週分一圓九十錢（送料十錢）
需用激增工場新設
藥効確實診療所始
（移轉）東京小石川下富坂町　無量壽藥園　振替東京二〇〇二

明治ゴム製品
販賣總代理店
東京市銀座二丁目
鐵材機械雜貨輸出入業
米井商店
支店　大阪市今橋四丁目　神戸市榮町三丁目
出張所　橫濱市元濱町　橫須賀市諏訪町　門司市西本町　吳市中通一丁目　京城黃金町二丁目
（代理店）佐世保、新義州、大連　青島　北京
明治ゴム製造所製品
ゴム管　就中ニューマチックホース（鑛山用造船用等）高壓ホース（水壓八千封度に耐ゆ）は針金卷特殊鎧裝を施し堅牢持久舶來品に優る數等なり
ゴム板、パッキング
調帶　傳動用　運搬用
ロール　製紙用　染工場用
エボナイト　板、棒、電池用各種
マット　船舶用、列車用、家屋用、自動車及人力車用
自動車タイヤー　人力車タイヤー
自轉車タイヤー　飛行機タイヤー
◎船艦、鑛山、電氣、瓦斯、醫療用其の他工業用ゴム製品一般

スワン萬年ペン
宮內省御用品本品の眞價は既に社會に定評あり〔illegible〕
到る所の文具店に目下競爭販賣中買ふ人の〔illegible〕

續々發行
新刊
電氣工學初等叢書
全編十五冊豫定
工學士　扇本眞吉先生　監
工學士　若目田利助先生
工學士　高津清先生
工學士　村尾栞先生　修
破格の安價で。平易総かな附て。誰にも分る。日本一の新刊！
現代の要求に頗る適合し最大好評。賣行如飛。
◎正價金五十錢・送料十二錢・滿韓臺樺送料十三錢
電氣通論
本日發賣
（體裁）ー▲全一冊四六版紙數二百十頁ー▲插圖百個ー▲平易詳述圖解かな附何人にも了解す▼
電氣通論目次大要
○第一章磁石の性質○第二章磁界及磁力線○第三章地球磁氣○第四章起電狀態○第五章靜電誘導○第六章電氣力及電位○第七章導體の容量○第八章電流の概念○第九章電流と電壓○第十章電池○第十一章電流の化學作用○第十二章電流の熱作用○第十三章電流の磁氣作用○第十四章鐵の磁化○第十五章電磁誘導○第十六章交流○以上を百三十項目に分ち平易詳述圖解せる本邦唯一の電氣工學修得良書也
發行所　東京市牛込區〔illegible〕町十三番地　建築書院　振替東京一八六〇七
各編五十錢均一

◎政府の馮國璋懷柔策

北京政府は馮國璋の舊約法反對懷柔の爲め林長民を派遣せる外李盛鐸其の他の人物を張勳の許に派し之を懷柔せしめ又孫某を上海に派し進歩國民兩黨の領袖と協約を爲さしめたり（北京特電）

◎張勳十箇條の電送

北方代表會議＝黎大總統援助

張勳は北方各省代表者を集めて會議を開き黎總統を援助することゝし又各省に向つて左の十箇條を電送せり（北京特電）

一、前清皇室優待條件の保全
二、袁氏一家の生命財産榮譽の保全
三、法に則り正式に新國會を召集する事
四、各省の獨立取消を督促し肯かされば武力に依つて解決する事
五、屢々亂をなせる激烈分子の政權に參與するを絶對に停止する事
六、嚴正に兵備を固め各方面の治安を維持する事
七、國家維持の爲め兵を動かす時は軍隊及び軍資は協同して負擔する事
八、時局定まらば政府に對して租税の減少を求むる事
九、中央政府にして誤りたる政治を爲せし時は各省聯合して忠告する事
十、中央政府は嚴正に之を實行する事

◎南方代表續々入京

天津に在りし李經儀、熊希齡廣東龍濟光代表者上海梁啓超代表者を始め南方代表者續々入京し舊國會を天津に開くべしと主張する者あり（北京特電）

◎正副大統領再選乎

巴路易來電に曰く此程民主黨國民大會開會式の如く開會の辭及び幾多の演説ありウイルソン氏及び現副大統領マーシャル氏は再び同黨大統領及び副大統領候補者に推擧せらるべしと（紐育電報）

◎選擧戰とウ氏の聲明

華盛頓來電に依れば大統領ウイルソン氏は一場の演説を試みし外國系に屬する米國市民中の一部の者の背信を攻擊し國家多端の際に當り彼等は來る可き大統領選擧に於て復讐せんとの一種の政治上の脅喝を行はんとしつゝありと這は即ちウ氏が大統領選擧戰に於ける一論爭點を聲明したるものにして右は民主黨の政綱中に擧げらるべしと信ぜらる（紐育電報）

◎梁氏辭表提出

稅務督辦梁士詒氏は十三日辭表を提出したり（北京特電）

□立太子式準備

立太子の盛儀は今秋を以て御擧行ある御豫定なるが右は未だ公式の仰出しにあらざるも之に要する經費は大正五年度皇室豫算以外臨時費として編成せらるゝ事となるべく式部職、調度寮、宮職等は目下之が内調査に著手したりと漏れ承はる（東京特電）

◎林大使參内

十三日午後八時東京驛着列車にて歸朝せる林大使は十五日午前十時三十分石井外相同伴參内拜謁仰付けられ天機奉伺後伊國の現狀及び歐洲戰爭に伴ふ列國の國際關係等に就き奏上御下問に奉答し退出せり（東京特電）

◎經濟調査會

貿易部特別委員會開會

經濟調査會にては十五日午後一時三十分より首相官邸に於て貿易部特別委員會を開き海外に於ける興信機關設置の可否及び其の方法に就き土居委員提案者として大阪商業會議所の經濟調査會議に於ける希望を詳細に説明し各委員意見を交換し調査を進めたり（東京特電）

◎露軍陣地占領と奪取

……ザボの南方に於てドニエステル河に沿ひ進出を爲したり（露都電報）

……貯炭高を調（へきや否やは未だ……割讓、猶能く趨勢を一變して……沿川渡し塊炭一等物五十三圓同二等物四十九圓切込炭一等物四十三圓粉……實をかくし一部同業者間に協議を纏……し居れりと因に高島二十圓松島十八……十六萬三千六百三十一圓餘合計八……十萬九千八百五十五圓にして前年同……

東子祭（八）は窃盗前科一犯……三日より旭町某方に雇はれ同家の……

◎平壤商議員當選者

平壤商業會議所評議員選擧は既報の如く十五日午前九時より同所樓上に於て擧行され午後三時終了開票の結果有權者内地人二百〇八名朝鮮人百〇八名中投票數内地人百九十三票朝鮮人五十七票にして評議員定數は内地人十六名朝鮮人八名當選者氏名左の如し因に朝鮮人側候補者は定數に滿たざりし爲め全部當選したるを以て不日更に選擧行はるべし

▲二三山根正治▲一七毛利辰次郎▲一六奧田延之助▲一六脇阪喜之助▲一六中平岩藏▲一五森本義蕃▲一五西鮮造林會社（代表者大橋恒藏）▲一五林長太郎▲一一新野松次郎▲一一上谷亮藏▲八新野吉兵衛▲八内田彌三郎▲八村井正明▲七松本哲▲七在間行太▲六定永鶴吉▲六竹中佐二郎

右の中定永氏と竹中氏は同點なるが何れが當選となるかは後報す（平壤電話）

◎朝鮮の水害に就て

十三日來の豪雨は各地共出水夥しき模樣なれば未だ其報告に接せざるも河川の氾濫、堤塘、道路の破損、橋梁の墜落、流失等被害鮮からざる可し、朝鮮は内地の如く降雨繁からざるも雨勢急激にして所謂土砂降りを演じ、山容未だ整はざるを以て河川瞬時に氾濫す、從つて雨多ければ必ず多少の被害あり、此の爲め本府に於ては年々經費を支出して復舊工事に努め昨年の如きも總計約四十萬圓の支出を爲せり、道路の修築は一二等道路共本年度より地方廳の經營となりたれど水害等に依る破損の復舊工事は本府の所管たるは勿論にして總督府は地方廳の報告に基き被害の狀況を精査して其程度大ならざるものは普通の修繕費を以て處辨するも被害の程度大なるものは差し當り賦役其他の方法に依りて應急工事を施し最も急を要する個所に對しては豫備金中より支出して更に本工事を起し又た強て急を要せざる個處若くは應急工事に依りて相當支持せらる可きものに對しては翌年度に豫算を計上して完全なる復舊工事に著手するのとす、尤も斯の如きは姑息の手段なれど鮮地の狀況は遽かに其災害を根絶し得可きにあらざれば相當の時期に達し治山、治水の途遺憾なきに至るまでは年々之れを繰り返すの外なかる可し（岡土木課長談）

産業と資金＝農銀支配人の地方談

全州農銀　岩崎虎二郎氏

全北の生命は米にある　全北の經濟界は米によつて支配されてゐると云つて宜しい、事實價値な小豆と牛皮百三十五萬石以上の米を産する全北道を朝鮮の寶庫と稱呼するのは決して過言でない

▲農事資金と需要　其の全北の出界が近年に於ける地價の下落と米價の不味により不振なるは蓋し自然の理數である。農工銀行に於ける農事資金の貸附が振はぬのは又止むを得ない、唯全北は水利事業の普及に於て朝鮮第一である、既に臨益、全北全益臨沃沃溝等の各水利組合竣工して成績よく近く起工し又計畫中ならんとするものに古阜水利及び東津江の兩水利がある、前者は五十餘萬圓後者は百萬圓の工費を投すると云ふが此の二組合計畫にして竣工せんか全北の平野は先づ大體に於て水利の便を得る事になり米産の増加も著しいだらう、併し水利組合の事業は灌漑及び排水の施設にある、從がつて起らざる可らざる耕地の整理施肥種子の改良の如き所謂營農上の改善に資金を要するは當然で結局農銀でも之等に相當の貸出しを見るであらうと思ふ、唯目下の所は何分前述の如く農家經濟不振の爲め殆んど著手らねばならぬ事も何れも手控への次第である

▲地價は漸騰　地價は一昨年より昨年に亘り非常の不振で一時土地熱の冷めて居た時代に比べると各水田共平均三割餘の暴落を掛けてゐた所が今春より稍土地熱の起り來り賣買取引も小口ながら追々行はれ價格亦上向きの傾向にあり、概して昨年に比し一割以上の値上りを見て居る、乃ち目下の相場は一等地上田で反六十圓中田三十圓下田十二三圓と云ふ見當で宜しい、私は此の傾向を大に全北財界の爲め喜ぶべき事だと思つてゐる

▲全州の製紙事業　米作が全北の全生命である丈け目下の所工業らしいものは殆んどない、強いて擧ぐれば全州の製紙工業は主なるものであるが、それとて私の銀行で融通してゐるのは一萬圓足らずである、然し資金の不足や何や彼やで半島特有の朝鮮紙の如きは殘いてない、唯料作及び野生の楮でチリ紙丈けを造つてゐる。然し全州及び其の附近には全く内地チリ紙の移入品を入れない、北の年産額の幾千なるかは一寸記憶せぬが六七千圓の取扱があり隨分利用ひなしても尚ほ若干殘るらしい

▲金融は緩漫　小さい全北の金融界も世界の趨勢には洩れず甚だ緩漫である。農工資金の需要が例へば相當起つて來ても今日の所では一向差支へない。私の銀行は寧ろ遊金は多過ぎる位抱いてゐる。而して五月十五日より數年の懸案だつた裡里及び金堤の兩地に派出所を設置した、尚ほ新設早々の事だから殆んど語るべき材料もないが既往に於て經驗した所から思ふと相當成績は擧るだらうと思ふ、尤も今日と云ふ兩地の發展は私等の思つて居た程度に達してゐるから金融機關の新設は決して無早でない、ドチラが早く支店に昇格するかは將來の數字に待つ外はない

▲全北の在米高　昨年今頃は百二十餘萬石であつたが可なり移出したけれど尚ほ各所の在米は決して少なくない、それが全部移出米となるか否やは姑らく措き百萬石は確かな處だらうと思ふ、何分米價が安ければ安いで從つて賣へば損だと考へられるが、チョイ〳〵高低があつたりするので何處も先高思惑で賣澁ひを仕て來るらしい、何しろ今少し米價が出て欲しい、石五圓所上つてくれると全北の受くる利益は年額六七百萬圓に達えるから

染料問題

我邦のコールタール分餾事業

中央試驗所技師　今津明氏談

■石炭乾餾の副作用＝（骸炭、瓦斯、タール）

以上述べ來れる染料及び醫藥の原料となるべきものは石炭乾餾の副産物たるコールタールを分餾して得らるゝものにして、原料供給如何を明にせんが爲め我國コールタール分餾事業の現狀を述べん。

石炭は之を空氣中にて燃燒せしむれば熱を出し、一部分は黑烟となりて飛散し、灰を殘留するものなるが之を「レトルト」に塡裝し空氣に觸れしめずして強く熱すれば、固態、液態、氣態の三つに分る。この固態は「レトルト」内に殘留するものにしてこれをコークスと稱し、冶金其他に重要なる燃料として用ゐらる。氣態物質は所謂石炭瓦斯にして吾人の日常使用する瓦斯は即ちこれなり。近來又石炭瓦斯は動力用として多量に用ゐらるゝに至れり。液態物質は之を靜かに放置すれば二層に分れ、この内上層は瓦斯液と稱し、多量のアムモニヤを溶解せる水溶液なるを以て、これ硫酸アムモニヤ製造の原料に供す。下層は即ちコールタールにして黑褐色の汚き油狀物質にして、一種特有の臭氣を有しこれを分餾すればこれより染料醫藥等の貴重なる多種の原料を採取し得べしとは、實に想像し難き位なり。

▽各物質の割合　石炭乾餾によりて得らるゝこれ等物質の割合は石炭の種類乾餾方法等によりて異なれども、大約石炭一〇〇よりコークス七二、瓦斯二二、タール六の割合にて得るものにして、このタール中の染料醫藥火藥等の原料となるものは其の一小部分に過ぎず。即ち一〇〇の石炭より僅に、〇三六内外を得るに過ぎず。我國瓦斯タール生成の割合を實際に調査するに、石炭一〇〇に對し五、二位の割合なり。

コールタールは多種物質の混合せるものにして、その五分の一乃至三分の一は遊離炭素を含み、この外に約百四十二種の物質を含有し複雜なるものなれども、染料醫藥等の工業原料となるものは左の十種に外ならず

ベンゼン、トルイン、ザイリン、石炭酸、クレゾール、ナフタレン、アンスラセン、メチールアンスラセン、フェナスレン、カーバツオール、

これ等の物質がタール中に存在する割合はベンゼン類（一、七五％）石炭酸（〇、二五％）アンスラセン（〇、二％）ナフタレン（五、九五％）等の貴重物質は比較的少量にして、クレオソート油等は可なり多量に存在す。ピッチは約その六〇％を占め其他のものは水分又は蒸餾の際失はるゝ物也

◎吉原總裁歸京

株主總會列席の爲め上京中なりし吉原東拓總裁は十五日夜南大門驛着列車にて歸京せり

□楊子江上より

木村理事一行消息　高橋生

漢口が所謂東洋のシカゴなる所以を一通り視察致し、更に皇國鐵政の基礎たる大冶鑛山一見。只今楊子江上の客となつて上海に向ひ居り候

大冶にて
莫耶鑄し山氣の冴わや鬼劍

逸話其他は後日ゆつくり貴意を得度く存じ。多少蒐集罷在候

帆揚ぐるや長江千里雲の峰

（此句には木村理事と署名しあり、理事の北旅行中における唯一の傑作振り想ふべし）

人事消息

▲安武千代吉氏（釜山警務部長）十五日夜入京知火へ
▲神林啓太郎氏（咸興慶興收稅役社長）十五日夜入京南尾へ
▲西崎鶴太郎氏（鎭南浦商業會議所會頭）同上
▲大庭千代丸氏（久原鑛業技師）十五日夜入京天眞樓へ
▲石黒潤一郎氏（鑛業家）同上

◎露軍進出敵軍沮喪

敵軍ドニーステル河畔より退却

露國西南部戰線に於ける露軍の進出は依然成功を以て持續さる敵軍々隊の士氣の沮喪せるは其の司令官が部下を棄てゝ遁走せるを見ても明かなり我露軍の手に捕虜となりし敵の高級將校は僅かに其の一小部に過ぎずドニーステル河に沿ひて露軍の占領せる戰略上の諸地點中最も重要なるはザンストチキにして之が占領に依り敵は其の側面を包圍さるゝを避けんとしてドニーステル河畔より退却するを餘儀なくせしめられたりツエルノウイツチは既に露軍の東方及び東南方より包圍せられ北方に通ずる鐵道線路も露軍の切斷する所となりたれば今や同地はトランシルバニアを通過する聯絡線を餘すのみとなれり（露都電報）

■南言北語■

連戰破竹の露軍は前一週間に敵軍七萬を捕虜にしたと云ふのに其後又三萬五千の兵卒と三百人の將校を生捕た▲此の調子で行くと五軍團や六軍團位は何の事もない▲話半分に聞ても最近五六萬人を生捕つた事は間違はあるまい思ひ切つて斯う降參する方も豪い▲一體歐洲戰には捕虜が非常に多い塊軍なんかの降參の巧妙な事は平素から降參方法を研究して居るのに相違ない▲三十六計中逃るのはむしろ降參に如かずと云ふ戰術があるかも知れぬ▲獨のモルトケ將軍が一新聞記者に向つて曰く▲我軍が敵軍より優越であるか何うか抔と云ふ抽象的議論をせずと今少し具體的に敵が現在どれ丈け侵入を敢てしたかを調べて見るが可い▲と豪語して更らに目下のヴェルダン戰の捗々しく進まないのは其れ丈け非常に困難の度が多い事を證明して居るが唯勝利の道は佛軍の有らゆる豫備品灰を燼に歸せしむる丈であると▲以てヴェルダンに於ける獨軍攻擊の猛烈さが想像せられる▲政友會の大岡育造君の將棋最中に客が來て三浦將軍邸の會合ですねとやると▲ウムあいつは政略は別として彼の桂馬で王手とエー其れから或意味に於てはサア大變此の成り角で▲と時局と將棋とをごつちゃ混ぜにやる處は大に大岡式を發揮して樂天なものだとサ▲先達陳其美が暗殺された時丁度青森縣選出の菊池代議士が其の家の二階に居た▲短銃の音を聞いて坐に居た二三人の邦人と共に階下に驅け下りて其邊にあつた釜を夢中で刺客に投げ付けたのは好かつたが▲曲者が捕まつて誰彼が頭に中つたと云ふを聞くと急に胸の邊が痛み出した▲しまつたと思つて大急で胸を開けて見ると何ともなかつたのでホッと一息▲其れから四方を見廻して誰れも見て居なかつたので又ホッと一息

簿記募集　日本簿記專修學校
●習字通信教授に二十年間の經驗ある

小野鵞堂習字會
會長小野鵞堂先生　教授法益々好評目下入會の方多し　會則二錢郵券東京神田錦町三の十七　文部大臣許可社團法人書道研究斯華會

▲外務社員募集
明治公債株式會社朝鮮支部
▲京城府東拓會社隣　電話一九〇八番（振替京城二五五〇番）

巖谷小波先生監修
七月號
幼年畫報
定價一冊十二錢郵税一錢
一頁毎に細心の注意を拂つて繪柄を選び、配色に苦心し、説明も解り易く、お噺も面白く、娛樂と教訓の兩全を期し、凡ての點に於て遙に群を拔く給雜誌中の給雜誌
也とは本誌に對する父兄方の定評で、お子樣達より毎月お待兼の催促を受けてゐます、本誌類似のもの多ければ「博文館の幼年畫報」と御指定を乞ふ
東京本町　博文館

海員募集
最新の航海に關する學術を教授し海員を養成す卒業者は各汽船會社へ直ちに就職せしむ四ケ月卒業會費一圓四拾錢規則進呈●東京芝愛宕町帝國通信航海學校

移轉
京城永樂町二丁目七十六番地（元赤門通）
八千代生命保險株式會社京城支社
電話　一一一三

日韓書房
新版報告
岩重三著　實用鑛物學講義
内田鯤五郎著　採鑛設計
八木靜一郎著　織物製造法
諏訪末吉著　實際養蜂
教育學術界臨時增刊　支那研究
京城本町二丁目

機械油　カーバイト
營業所　門司市錦町
車印機械油　石油　輕油製造販賣
日本石油會社機械油九州一手販賣
信濃電氣會社カーバイト西部一手販賣
製油所　新潟市關屋大門前
岸商店

婦人科　産科
入院分娩應需
京城旭町一丁目　院主　衣笠茂
中央婦人病院
（電話二三四〇番）

醇良清酒
白鶴
仁川本町三丁目
增本酒店
電話一〇九番　振替京城六一九番

…キーを奪取せり又露軍はブクザスの北方にてテンスタの方面より來れる敵の援軍の爲め一時前進を阻止せられたるが如きも尚…露國軍隊は…地に對し砲擊を加へつゝあり（倫敦電報）

…かける貯炭高は非常の減少にして…る七月一日より實施さるべき採炭…しむる能はざる可しと因に目下…

罹災者の避難……舊龍山……

●青葉に包れた 神代の遺蹟 根の國曾尸茂梨

昭陽亭下の渡船中にて岸の柳の陰、暗き處「お春ケ淵」のロマンスを聞きながら江を渡れば坦々たる大道十二三町にして直ちに素盞雄尊の遺跡牛頭山に至る牛頭山は田圃中に崛起したる高さ麓から約百米突周回約一里ばかりの南北に細長い孤山である、南方登り口には近來

□丸木の華表 なども建つて居る全山松、樋、アベマキ、櫟等の緑に蔽はれ東北より山麓は直ちに昭陽江戀流し西南は平野遠く華川江に連つて居る、牛頭山一帶の平野を牛頭里と云ひ朝鮮語にて之れをソシモリと稱し古事記に「素盞雄尊、始め根の國曾尸茂梨に坐しまし余は長く此に居るを欲せずと言あげし給ひし」曾尸茂梨なりとて近年

□關野博士が 此の山上を發掘した事も有つた百米突ばかり登ると其處が一つの臺地に成つて居る、如何にも古墳でも在つた樣な地形であるそれから又百尺ばかり花菖蒲の一面に咲き充ちた林の中の小徑を登つて行くと更に茲にも二三十坪ばかりの平地がある茲が

□素盞雄尊の 御陵だなどと云ふ人も有るが勿論何等證據とすべきものは無く且つ素盞雄尊御自身から茲に在す事を好み給はなかつたのを見れば尊の陵墓が茲の山上に在る理由はない、尊の茲におはしたのは久米博士の云ふが如く新國征服の爲めに駐まられたのであらうか。それさへ此の牛頭山なるや否やは不明である。山上小さき祠が在つて祠の前には二基の大理石で彫刻した狛犬が据ゑてある祠の中には四尺ばかりの

□坐石像が安置 して有る其の彫刻の樣式から見れば祠外の狛犬と祠内の像とは縱の無い事が直ぐに分る座石像は顔面磨滅してよく分らぬが狛犬よりも新らしいもので佛像らしい、狛犬は此の邊に大理石を産する處は無いと云ふから遠方から運び來たつて

□貴人の墳墓 か何かを飾つたものに相違ない、勿論それと素盞雄尊とを一緒にして考へる事は能きぬ。それより更に山頂に達すると照陽江流中に松樹茂りたる繪の如き小島が見ゆる此の小島を抱擁する周圍の平野は貊の古都の地であると云ふ成る程一見したる處山嶽を廻らし左右、江河を帶びたる平野は

□昔時に在り て國を成すに最も便なる地形である、山頂を少しく東方に下れば山腹亦平地あり數個の礎石殘存せり今何の跡なるかを知らずと、牛頭山は歴史の考證なしとするも風光明媚にして遊覽の地として充分の價値があるが殊に夏と秋とを一と時に咲く

□花草を藉いて 古事記や書紀の悠遠なる上代に思ひを馳せ謎の如き記紀や神人の來往を冥想する時、戰よぐ青葉の葉摺れまでが神話の中の物の如くに思はれる考證確實でないからとて得難き史蹟を沒却すべきものではない、牛頭山下には福豐社水里組合あり牛頭里平野一番に灌漑工事の施設中である

□美しき夕陽 は熟しかけた麥の穗波の上に落んさして雄大なる山村水源の春川を斜照して居る、變に備へたる天險の離宮地も今は京城を朝發つて許多の絕勝古蹟を探り即日歸京せんとすれば歸京し得るのである。

●漢江益々增水 危險刻々に加はる
龍山十番地の堤防終に決潰す 何れも避難準備に多忙を極む

龍山漢江は刻々增水し來り十五日午後八時には增水實に二十八尺に達し

龍山十番地堤防は終に 決潰し附近一帶泥海と化し浸水家屋多數あり龍山憲兵隊消防隊出動復舊工事に多忙を極む尚同夜中に上流楊州よりの增水落下し來り增水

三十尺を超ゆるの見込 にて堤防決潰の虞れあり憲兵隊警察消防隊は全部出動一朝氾濫の際に於ける準備警戒に努むると共に附近民家は或は避難せしあり又避難準備に多忙を極めつゝあり

●篤行家の獻金 明治神宮へ千圓と五百圓

忠淸南道唐津郡泛川面倉里豪農金致興氏は明治神宮奉贊會の趣旨を賛し金一千圓獻金方申出たり氏は同道に於ける屈指の資產家篤行家にして平素面内人民を愛護すること深く現に昨年凶作の爲面民困憊せる際籾百六石を提供し貧民に贈與したる事あり

□繭百貫目の御下附 皇后陛下には今春來紅葉山麓御養蠶所に於て手づから收容遊ばされし繭約百貫目を十二日西ケ原東京高等蠶絲學校に御下附相成たり同校にて此の繭より生絲を製出の上全部を上納する由

又麻浦の資產家金鎭燮氏は慈愛の心厚く常に寄邊無き者を救ひ或は倉廩を開いて細民を賑はす等陰德を施す事少なからず先年觀光團の組織せらるゝや之に加はつて親しく內地の情況を視察し深く陛下の御仁德に感佩し居たるが今回明治神宮奉贊會の設立せらるゝや進んで寄附を申出で十五日自身京城府廳に出頭し金五百圓を獻納したりと

●共謀して慘殺

全北長水郡蟠岩面馬堂里朴昌先（三二）益山郡生れ當時住所不定徐某（三二）忠南生朴家善（三〇）の三名は大正二年三月頃長水面長水里安鍾基方に忍び入り大豆一斗白米一斗五升を竊取したる外數箇所に於いて窃盗を働き更に十一月廿四日は同郡山西面芳花里一統八戸張箕錫（三五）が南原市場で牛を賣却し金を所持し居るを知り三人共謀して强奪せん事を計り午後九時頃張が歸途南原郡南原邑內東北約一里餘の沙川を通行中を引捕へ小刀を以つて殺害の上金並に洋傘を奪取して姿を晦したるが終に東花市憲兵派出所員の探知する所となり此程難なく逮捕し身柄は一件書類と共に檢事局に送られたり

●僞學士捕はる

京城大平通一丁目居住自稱鑛業大岡隆雄（二八）は去る三月三十日頃平北江界郡邑內の東部洞料亭藤村茂一方に赴き工學士と稱し大金を所持するものゝ如く裝ひて泊り込み威張散らしたる揚句宿料遊興費等百五十餘圓を踏み倒し且つ同家の衣類二枚を着用したる儘五月末頃逃走して行衛を晦ましたれば被害者の訴へに依り同人の所在搜索中此程同道厚昌郡にて憲兵に取押へられたり

●大金を詐取す

慶南鎭海菊川町宿屋業藤本林之進（四七）同山吹町酒販賣業服部計之助（五十）同旭町船具商小田原泰一郎（三二）の三名は共謀し同地巴町居大熊某、慶和洞居寛某の兩名が昨年夏頃渡鮮し來り朝鮮の事情に通せざるに乘じ同人等に土地家屋を周旋すべしとて昨年十月以降本年五月迄に多數の買收を仲介し頗る廉價にて買收しながら

●豪遊客は曲者

本年三月頃より下關新地廓內に入り込み豪遊を極め居るものあるを陸署の刑事が探知し怪しき奴と睨み行方搜査中十三日夜廣島樓の仲居を連れて同廓內飲食店島政方にて一杯飲み居る處を突きとめ本署に引致取調べしに此奴は朝鮮濟州島生れの俊南（三五）といふ者にて五六年前より內地に來り岸本德太郎又は山田仙吉など稱してトロール船員等をなしゐたることあり去月三日下關宮田町不動銀行代理店員西本政敏方に忍び入り貯金通帳五冊預金高百五十圓のものを竊取したるを手始めに竊盗を働きたる件數二十四件に上り賍品は總て入質して遊興費に當てたるなりと（下關）

●日本より職工派遣

擱坐せる露艦引卸の爲め十一日午後六時露國海軍御用船スイル號（一千噸）舞鶴に入港し同船乘組ルーテル中佐は十二日午前九時鎭守府に名和長官を訪問し何事か凝議する所あり來朝の用件は秘密なるも聞く所に據れば嚢に浦鹽港外に擱坐せし露國軍艦『ペレスウェート』の引卸作業に就て帝國海軍より諸材料借入の爲め來朝せるものにして右材料は舞鶴工廠より供給のことゝなるべく之に要する職工は橫須賀舞鶴の兩工廠より派遣のことに內定し橫須賀工廠職工は既に十一日午後八時舞鶴に來れり是等の職工材料等は舞鶴所屬工作船に搭載十五日頃浦鹽に向ふべし（舞鶴）

◇吉柳博士の談 歐洲見學の途上

京都大學敎授工學博士吉柳某氏は去る十日同大學敎授工學博士大鹽某氏と共に歐洲見學の途に就しが車中往訪の記者に語つて曰く

予は今回歐洲見學の爲め京大より派遣され露英佛を視察したる上米國を經由し明年六七月頃歸朝の豫定なるが十年以前の朝鮮と

▽今日の朝鮮 とを比較すれば其の發達實に著しく何人と雖も始政五年後の朝鮮は其の面目を一新したるに驚かざる者あらざるべし就中教育の進步は著しく今や各地到る處教育機關の設備を見るに至たるは

▽國家の爲め 誠に慶賀に堪へず唯だ教育と宗教とは密接の關係を有し居るを以て爲政者は大に此の點に注意せざる可からず我國の爲政者は輙もすれば宗教即ち國民の信仰を閑却するの嫌なきにあらざれ共

▽國民の信仰 を度外視する者は到底立派なる爲政家と云ふべからず世には徒らに曲學阿世を事とし只管大向ふの喝采ばかり博せんとする學者なきにあらざるも斯る徒は學者として先覺者として毫も價値なく彼の維新前尊王攘夷の論議しきりに方り

▽獨り斷々乎 として尊王開國を唱導したる佐久間象山の如きは眞の學者眞の先覺者にして徒らに自分の地位を顧慮し充分なる意見も吐露し得ざるが如き學者は社會に何等の益なし即ち學者は超然として毀譽褒貶の外に立ち其の

▽權威を發揮 すると共に飽く迄其の主張を貫徹するの確信なかるべからず而も此の確信は宗教的信念の上に立たざるべからざる者なるを以て苟も教育の任に當る者は深く此の點に注意せざる可からず云々

●安養鐵橋復工 差詰め假橋架設

安養川の增水は十五日朝來時より一丈一尺の高さに及び十四日夕に比し二尺五寸の增水にて尚益々增水すべく見受けられ濁水滔々として野も畑も無く漲り溢れたり今回破損せし安養川鐵橋は明治卅五年の京釜線第一期工事に際し架橋せられしものにして曾て一回も破損せし事なく今日に及べるものなるが十三日午前五時二十分安養發第七列車が同鐵橋を通過し終るや否や間一髮の後橋脚一臺押流され更に引續き激流の爲めに尚一臺は三十度餘の傾斜を爲し爲めに鐵橋は曲線を畫いて濁流に逆らひ居れる狀態慘たる光景なり原因は增水の爲め橋梁より下流約三十間餘の人道十間餘決潰せし爲め水流一時に激したるが橋脚下部の土砂を洗ひ去りたるものならんと云ふ旅客は各兩岸に急設せられたる假停車場間を徒步して濁流せる鐵橋上を徒涉し居れるが夜間殊に風雨の際は物凄き有りしも幸にして雨歇みたるより漸次復舊工事も進捗すべく復舊工事は稻垣工務課長の指揮により人夫百五十人を使役し晝夜兼行にて工事に從事しをれるが目下の處鐵橋より下流卅間餘の箇所に六間物の松材を河底に打込み新假橋架設に力めつゝあり其材料は總て既に蒐集し居れば減水と同時に著々工事進捗するに到るべきも十六日朝迄は未だ完全なる連絡不能なるべし（現狀視察者談）

●各地水害

▲水源池附近 纛島水源池附近は漢江出水甚だ甚しく十五日午後四時には二丈四尺四寸に達し尚ほ一時間約七寸の增水を見つゝおり東拓農場附近も午後四時には浸水を見同場と漢江方面との交通は杜絕し益々增水の模樣ありたり

▲浸水三十六戸 京畿道楊州郡渼金面に沿たる漢江にては十五日午前十一時二十五尺の增水を見同面水石里にては床下浸水三十六戸あり

▲京春間杜絕 京畿道加平郡加平邑內は十五日午前十時頃北漢江の增水二十尺に達し十四日午後六時より京春間は交通杜絕せり

▲錦江の增水 忠南錦江の增水二十八尺論山川十五尺增水し論山は百戸江景は二百八十戸の浸水家屋あり公州鳥致院間、公州論山間交通杜絕し其他各所道路橋梁及び農作物の被害ある見込みなり

▲春川及び麟蹄 江原道春川を中心とし北は杆城南は寧越郡に及び何れも河川增水し新延江の上流麟蹄郡地方幾分の被害ある見込

▲群山の洪水 十四日朝より十五日朝にかけ稀有の豪雨あり群山府內一部及び沃溝郡は濁水滔々として漲り一面の海と化し浸水家屋崩壞家屋多數に上り府廳郡廳警察等協力し被害民の救護中なるが多少人畜にも被害ある見込なり（群山特電）

●大錦賓父を伴ひて 滿鮮巡業の途に就く

朝鮮及び滿洲地方巡業の途に上る大錦は平素孝心深く巡業地へ賓父を同伴することゝし十五日朝大阪なる實家に立寄り父を伴ひ同夜大阪を發したるが十六日朝の連絡船にて釜山に上陸する筈なり（大阪特電）

●三雜誌發賣禁止

六月七日發行の東京通信（七一九九號）大隈伯談の記事あるもの）六月一日發行の新社會（賣文社）は治安妨害に依りまからせ候（池邊書助著）は風俗壞亂にて何れも發賣禁止せらる

演藝

▲黄金館 十六日より全部新寫眞さし替へたるがその主なるものは左の如し ▲實寫關東四國學生角力 ▲滑稽熊の行商 ▲日本喜劇ラストマレージ ▲泰西活劇空中の大爆裂 ▲悲劇深山の名歌の舟小坂部館の段 ▲新派…

▲大正館 十五日より映寫の探偵奇談死の喉笛の主なるは左の如し ▲死の喉 無期懲役の宣告、飛入圖鉄、佳人の紅涙、惡漢の密計、闇界の苦役、他人の空似瓜二ツ

▲浪花節 京山恭楽、桃中軒如雲一行の浪花節にて開演中なるが打揚げ近くなりし事とて毎夜大入なり

▲荒牧輝鳳教授所 曩きに講節にて獨奏會を開き京城琵琶界を賑はしめたる筑前琵琶錦心流の宗家荒牧輝鳳氏は今回當分滯京する事となり諸町十二番地迄國京事に教授所を設けり

讀者文藝（一等には五十錢の出品券を呈す）

△俗謠『袴』

○直ぐな心と教ふる袴それもはきよじや皺が寄る（一等） 京城 南 蜂生

△朝な夕なに袴を吹いて風に色ある日向坂 京城 大島 柴流

△おなじ道を伴する袴丁度今年が十年目 京城 す ま 子

△昔偲べば紫紺の袴秘めた心の艶もある 京城 爽 竹 坊

△盛に仕付けに手の冴見えて床し袴の仕立振

△袴はかせて紋付着せて今日は愛孫初登校 龍山 思 君

川柳題『酉』 締切十四日 發表 七日
物は付『目障りになるものは』 同十五日 同 十八日
一口噺『朝鮮に關して』 同十六日 同 十九日
謎『生ビールとかけて』 同十七日 同 二十日
はめ込 狂歌『釣』 同十八日 同 廿一日
次回俗謠『鍵』 同十九日 同 廿二日
同廿日 同 廿三日

▲募集規程 ▲用紙は端書又は同型の洋紙一枚毎に紙上の雅號又は匿名の外に住所氏名明記の事 ▲締切は一週間後 ▲種類の異る毎に用紙を更ふ可し總て一種二句以內の事 ▲此規程に違はゞものは沒書

◎取消 貴紙上に『肉切庖丁で妻を嚇す』と題し小生が檢事局に送られたるが如く御記載有之候處右は事實相違に付き取消被下度候也 六月十五日 辻文雄

京日案內

普通（一回前金三十錢 無割引）（匿名一回毎に金五錢增）
番外（一回前金六十錢 無割引）（匿名一回毎に金五錢增）
▼申込後中途掲載中止の節は料金返戻せず

普通

男女誰にも出來る好職遊んでゐる人及び內職希望者に適する面談早朝又は夜九時後 南山町三丁目五番地高木宅 818
▲見習看護婦至急募集 希望者は本人來談 上野醫院 電話二九三 819
▲上女中至急入用 京城南米倉町 ▲本町明治町 820
▲旅館至急賣受けたし 南山町南大門通區域內御用の御方は電話二九三四番へ 814
◎洗張 染物職人一名至急入用 龍山漢江通一三番地 櫻屋染洗張工場 815
◎店員入用 十五歳以上二十歳迄 龍山鐵道構內電車終點 穗屋雜貨店 電話五〇二番 320
▼ペン習字新法練習帳付 送料共四十錢 ◎ウツボヤ書店
配達人數名募集 市內に身元保證人ある者希望者本人來談 京城本町振二武參 京城明治町二丁目 町田新聞部 806
◎便利宿 一泊三食付金三十五錢 御下宿一ケ月金九圓 仁川濱町七番地 德島屋 392
◎古本高價買入 御一報乞即刻參上 ▲京城本町 群書堂 348
試賣を乞ふ 四電話一七八一番
◎讀書の雜誌貸本 二百圓現活動寫眞據付及 ◎大平町通三丁目 活動寫眞店 821
◎明治町フランス教會正門前 ▲うちみくじき治療 荒川仁壽堂 362
▲ホネツギ 電話三五九五番

番外

乳牛配達夫 數名入用希望者は至急來談 但市內に要保證人 電話九三六番 京城西大門外金華山下 東洋牧場 817
◎漢江遊船案內 舊龍山電車終點 電話五二八番 共樂社 355
東京高等瀧タワシ 製造販賣 京城南大門通三丁目 電話二壹九八番 栗鳥辰次郎 366
朝鮮のマラリヤには 金鷄丸が一等 京城旭町一 淺野樂天堂 343
◎樂器買入 古オルガン バイオリン 買取ます 杉野樂器店 812
店員募集 市內確實ナル保證人要 直接來談 京城本町三丁目 電話九三五番 森川商店 813
觀相 毎日晝間料金一圓 京城南部町一ノ九 八四番旅館 東京性相學會朝鮮支部主幹 石龍子先生高弟 限本修平 816
營業資本便利貸付 御用の方は午前中に來談有れ 櫻井町一 電話三四六 杉本質店 805
分礦物各種 拆 京城太平通二ノ一二五 電話一三四四 坂元分析所 810
京城春川間 自動車 京城發午前八時 春川發午前八時 廣橋自動車組 南大門通二丁目 電話三一九番 主務 金正淵 322
好職 利益多大美術ゴム事業老幼男女誰でも出來本業又は副業に適す 志望者は來店又は郵券十錢送れ案內書及製品見本急送呈す 京城太平通二大漢門前 太陽ゴム商會 384

恩給年金類 抵當低利貸付 市內土地擔保低利金融す 京城南大門外 山口屋 339
恩給 年金低利 即時 其他日掛秘密確實 一時貸 數年貸 公債通帳 高價買受 京城永樂町一丁目 商品陳列館表門前 江州屋 本店 314
クリーム キャラメル 大十錢 小五錢 パン 元祖木村屋支店 本店新製 京城明治町 電話二八七番 360

書籍御案內
吉田作造編輯 現代叢書 獨逸主義 德富猪一郎著 定價一、〇〇 郵税〇八
德富猪一郎著 世界之變局 定價一、五〇 郵税〇八
政事家としての桂公 德富猪一郎著 定價一、〇〇 郵税一〇
孫子諺義 定價一、五〇 郵税一二
日本家政學會發行 前大平記 定價一、三〇 郵税〇八
工學博士矢德三柳元爵馬耐先生編輯 財界名士失敗談 上下 定價各二、五〇 郵税各一二
米國ウインスロー・テイラー氏原著 學理的事業管理法 譯者星野行則氏 定價一、三〇 郵税一〇
木村鷹太郎著 在五中將業平秘史 定價一、二〇 郵税一〇
須藤光暉著 法然上人 定價一、三〇 郵税一〇
小杉天外著 長者星 定價〇、九五 郵税〇八
高濱清著 俳諧師 定價一、〇〇 郵税一二
縮刷 家庭 篁邨著 思ひ出記 定價一、〇〇 郵税〇六
雀躍 定價一、五〇 郵税一〇
最新 漢和辭典 京城大平通 定價一、五〇 郵税一二
賣捌所 京城日報代理部 振替京城三〇〇番 電話六六〇番

京城本町二丁目四五 山田醫院 內科 小兒科 院主 山田萬作 電話二八八番
今般仙臺醫學士尾形周太郎氏を招聘し眼科及花柳病科を開設し診療に從事す 眼科 花柳病科 尾形周太郎

大豆粕……暴落 ◎滿留嘉久肥料店 釜山停車場前通 肥料値段御照會次第送呈

瀨戶皮膚科外科醫院 旭町二丁目（舊三丁目） 醫學士 瀨戶潔 （電話二四九八番） 診察夜九時まで

女鳩
渡邊默禪

二六 はらちがひ

二十二年前といへば子爵がやつと佛國から歸つて來て、同族の若い集團にまだ湯氣の立つやうな巴黎通の新らしがつたところを振廻して、大もてにもてた時代であつた。たぎる血の華やかな青春の一昔、燃草の萌ゆるにまかせた夢の痕をたづぬれば心を傷むる懺悔が多い。その懺悔の一つとして今も猶彼の涙をさそふのは輝子といふオペラの女優と深い戀に落ちたとがある。輝子は帝劇専屬の花形として持囃された美しい女の一人であつた。子爵が或る夜、親しいクラブの遊び仲間にとり巻かれてオーケストラの歌劇を見に行つたのが、そもそもの惡縁のいとぐち。神女の塑像を活かしたやうな雪なす光の半裸體を、虹よりも鮮かな五彩の舞踏衣につゝんで、明るい花電氣のなかに蝴蝶の如く舞ひ狂つた彼女の姿は、最う有らゆるものを犠牲にしてまでもと子爵に思ひ込ませた。熱した彼の心はとう／＼多くの競爭者を後に蹴落し、戀の勝利者として誇り得られるやうになつた。酔心地の歡樂がしばらし續いた。併しながら彼はそれが爲に名譽の上に手痛い疵をうけた。妬む者あつて新聞に投書した爲に、輝子との暗い關係が世間にぱつと知渡つたのである。新聞の記事には最う子爵の種を宿してゐるとあつた。それが事實だつた。

それゆゑに輝子は帝劇に居られないやうな破滅になつた。子爵は餘儀なく外に圍つて月々の手當も十分に與へてゐた。と、そのとを聞込んだ父君が非常な怒を雷の如く彼の頭上に落した。親族や友人から射るやうに向けて來る忠告も何度となく彼の耳に響いた。彼は悟つた、悔ひた。けれども遅かつた。その時は輝子が既に安々と産の紐を解いた後であつたのだ。

生れたのが愛らしい女の子だつた。輝子は、秀子といふ名を命けた。割合に發育のよい、女だけによく泣くベビーさんだつた。女優のお腹をかりたのだから、最う表情をしてゐるのも無理はないなど、口の惡い人が言つてゐた。

家扶に鈴木平馬といふ老人があつた。夫婦協力して輝子の方へ交渉をした末、五千圓だけ金を與れて斷乎と手を切ることに話をつけた。さうして落胤の秀子を邸へ引取ることにしたが、その實は他へ里子にやつて滅多に父の子爵にも逢はせぬやうに計つた。

輝子の血統はあまり好い方ではなかつた。何でも俳優の子だとか藝人の娘だとか言ふとだつた。彼女に一人の弟がゐた。それが今度熊狩に同行した生駒吉十郎である。子爵は彼女との關係以來、その紹介で吉十郎とも親しくなつた。當時

成功しなかつた。其後の輝子は再び女優生活にかへつた。けれども前のやうな評判はとれなかつた。間もなく素人になつて小間物屋などを始めた。そして方々の藥屋を賣つて歩いた。兜町の相場師とやらを一度良人にしたが、それも長持はしなかつた。いろ／＼な變化をキネオラマの光線のやうに見せた彼女の成果はダンスのお師匠さん！今は衛ういふ名の下に丸の内の有樂町あたりへ小さな演舞場を揭げて、昔をしのぶ姥櫻のちりめん顔に悲慘な愛嬌を見せてゐるさうな。

姉の方は手は切れても、吉十郎だけは依然として子爵家に出入した。そして程なく輿入して來た新夫人の香子などにも、臆面なく取入つたものだ。二十年來子爵に出させた金ばかりも生優しいとではなかつた。今横濱で經營してゐる南洋貿易業の十字商會は、資本金二十萬圓と唱してゐるが、その金もほとんど子爵の金庫から出てゐる。

里子にやられた秀子は、十歳の時に家扶の鈴木が引取つて養育してゐた。大人の香子が沒してから間もなく、公然大河野家の籍に入つて、腹ちがひの庶子といふとで家族の一人になつた。

いやうな破滅になつた……は定つた住所もなく萍のやうな荒んだ境遇にさすらつてゐた男だつたのを、自分が口を昕いて或る商會の店員にしてやつた。それから獨立の商賣を始めるといふので、乞はれる儘に資本も出してやつた。が、何一つ

釣道具新荷着
釣道具 京城永樂町二丁目
投網製造 卸小賣
其他漁具一式 監獄署製品販賣所
吉備商會

随鴎吟社 七言絶句聯句
(六月十一日於鷺溪香山樓)

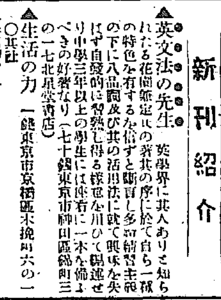
節入黄梅風送涼○青田無雨一心傷
此中誰復問牛喘○皷吹滿塘空夕陽
詩酒久違鷗社盟○一籬松影話吟情
鷺溪佳色君須記○綠樹薫風泉石清
講詩筵撤午天青○客氣俄加奈老齢
移榻綠陰茶當酒○松濤好向靜中聽
萬里青冥不可昇○飛行奇術吏誰能
輸攻墨守徒爲耳○一任圖南有大鵬
驟暑難堪六月樓○聽詩墨客一時休
誰知綠樹重陰處○也續風流半日游
綠陰移榻聽蟬吟○瀟洒亭臺枕水潯
節入梅天無一雨○倚松欲撫沒絃琴
節入黄梅濕翠嵐○樂鄉自有黑甜諳
陶然一酌三蕉葉○煩惱平生詩酒耽
樹密鶯溪夏氣添○池頭涼起透風簾
浴○餘○欄○角○呼○杯○坐○一○抹○斜○陽○在○塔○尖「天游」
病○餘○此○日○試○輕○衫○眼○底○風○煙○總○不○凡「寶谷」
一○覧○繁○華○三○月○夢○千○窓○間○聽○燕○呢○喃「通南」
說○詩○始○見○解○頤○工○照○我○心○旌○日○出○東「六石」
眞○與○葩○經○踪○將○接○温○致○自○慚○古○人○風「坡仙」
聽○講○杜○陵○詩○正○宗○二○南○遺○響○自○雍○容「門魚」
白○鷗○齋○社○吟○筵○盛○香○浩○蕩○能○馴○得○久○從「江親」

肌に輕く 着心地よき 夏物の
めいせん
お娘や
京城本町二 電話八九〇番

新刊紹介

▲英文法の先生 英學界に其人ありと知られたる花園兼定氏の著其の序に於て自ら一派の特色を有する八品詞及び其の活用法に就て興味を失はず自發的に知識を得る樣説明し得る樣意を用ひて一本を備ふべき好著なり（七十錢東京市神田區錦町三の一七北星堂書店）
▲生活の力（一錢東京市京橋區木挽町六の一〇其社）
▲養鶏指針（一五二）九錢大阪市南區牛野園分町四二五枝褒鶏園
▲日の丸（七月號）幼年敎育雜誌として最適當なるものなるべし（八錢東京澁谷東エビス文教社）

読者の領分



清貧生の上品なカフエーの提出は双手を擧げて賛成す珍味佳肴例へばロシヤのカビヤフランスのサーデン米國のコンビーフ北海道のスモクサーモン野菜にしてもアスヘラカスの如き罐詰試食的とも云ふ可きかホールと云ふか猶是に西洋酒も勉めて安價に一杯賣りを爲して定客連にはウヰスキー、ベルモットの如きは一瓶を賣つて飲だ諸名刺を預り置くも自由として勉めて輕便に洋食の趣味を向上せしめたい鶴屋さんなり明治屋さんに望む是非開始せられん事を望む猶序に一言す日本酒にあつても櫻、菊正宗、白鶴、澤の鶴の如き前記に類似して一杯賣を望む之れには一寸麗からの珍味長濟のからすし馬關の雲丹等を添へて頗る輕便の酒店も是非御願ひしたい之れは六七年以前より東京にも大流行して繁昌せり（柳條閑人）▲十四日朝刊に朝鮮人の物貨の大聲を巡査に制限してもらひ度いと病人の附添からとした投書があつたが物貨の呼聲は即ち其人の生命なり人種により言語にも大小が有る生活の烈しい今日大聲を小聲に制限るは其の物の命を取る樣なものだ（朝鮮人）▲パゴダ公園で許り音樂をやらず漢陽公園か南山公園でもやつて貰ひたい倭城臺の音樂堂は其れが爲一部人民から公園に建築寄附したものだ取りツ放しはひどい（寄附者の一人）▲漢陽公園の公園附屬の眺望の佳い建物は會合とか小宴會とかには貸して呉れませぬか（俳句子）▲小生處の埃箱には何時も半分位埃を取り殘して置かるゝから此の雨で蠅と蚊が急に出來た（南米倉町山の里）

商況

大阪[illegible]

	高値	安値	止め
六月限	一三三、八〇	一三四、〇〇	[illegible]
七月限	一三四、一〇	一三四、四〇	[illegible]
八月限	一三五、一〇	一三五、四〇	[illegible]

▲依然強硬 [illegible]
▲節の大買物 [illegible]
▲現物市場 [illegible]

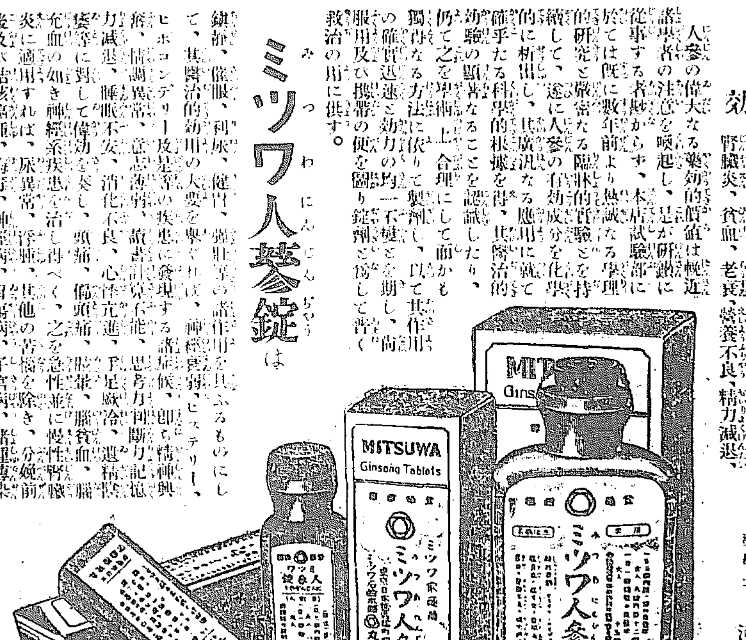
十五日の八月限 [illegible]
六月限 千四百五十七
七月限 三萬四千石
八月限 二萬九千百五十石

人蔘を科學的に研究して之を錠劑とせる
◎ミツワ人參錠
製劑責任者 藥學士 河西嘉一

主效 神經衰弱、ヒステリー、ヒボコンデリー、頭痛、偏頭痛、眩暈、腦貧血、腦充血、腎臓炎、貧血、老衰、營養不良、精力減退

人參の偉大なる藥効的價値は輓近諸學者の注意を喚起し、是が研究に從事する者尠からず、本店試驗部に於ては既に數年前より熱誠なる學理的研究と嚴密なる臨牀的實驗とを持續して、遂に人參の有効成分を化學的に抽出し、其廣汎なる應用に就て確乎たる科學的根據を得、其醫治的効驗の顯著なることを認識したり、仍て之を學術上合理にして而かも獨得なる方法に依りて製劑し、以て其作用の確實迅速と効力の均一不變とを期し、尚服用及び攜帶の便を圖り錠劑と爲して普く救治の用に供す。

ミツワ人參錠は
鎭靜、催眠、利尿、健胃、強壯等の諸作用を具ふるものにして、其醫治的効用の大要を擧ぐれば、神經衰弱、ヒステリー、ヒボコンデリー及是等の疾患に發現する諸症候、即ち精神興奮、情調異常、意志薄弱、讀書不能、思考力判斷力記憶力減退、睡眠不安、消化不良、心悸亢進、手足厥冷、遺精、萎等に對して偉効を奏し、頭痛、偏頭痛、眩暈、腦貧血、腦充血の如き神經系疾患を治し得べく、之を急性並に慢性腎臓炎に適用すれば、尿異常、浮腫、其他の苦惱を除き、分娩前後及び結核、腦腫、梅毒、神經病、胃腸病、子宮病、諸種傳染病等に因る貧血並に營養不良を回復して、蒼白なりし皮膚をして強壯なる血色に變せしめ、體力を增進し、又精力減退、即ち精神の困憊並に筋肉の疲勞を癒し、頭腦明晰意氣旺盛ならしめ、之を常用すれば老衰の諸因を去る等比類なき卓効を奏す。



定價 百錠入 金五拾錢 五百錠入 金貳圓

◎ミツワ人參錠適應諸症候
神經衰弱――頭重。頭内朦朧。耳鳴。眩暈。不眠。記憶力減退。陰萎。
ヒステリー――頭痛。呼吸困難。心悸亢進。精神鬱々。胃痛。知覺異常。
ヒボコンデリー――意志薄弱。疑懼不安。疾病重視。消化不良。便秘。噯氣。
腦貧血――頭痛。耳鳴。眩暈。眼火閃發。卒倒。嗜眠。思考力減退。
腦充血――頭重。頭痛。顳顬部搏動。耳鳴。眩暈。顏面潮紅。不眠。
腎臓炎――尿減。渇。尿變色。蛋白尿。浮腫。口渇。視力減退。頭痛。
貧血――頭痛。耳鳴。心悸亢進。皮膚蒼白。睡眠不安。月經不順。
老衰――動脈硬化。皮膚彈力缺乏。筋肉萎縮。視力薄弱。耳重聽。
營養不良――皮膚蒼白。筋骨薄弱。身體瘦削。精神衰弱。呼吸困難。
精力減退――精神困憊。筋骨疲勞。元氣缺乏。執務倦怠。起坐困難。

ミツワ石鹸
ミツワ椿油
ミツワ家庭藥
肝油ドロップス
御園化粧品
發賣元 登錄商號 丸見屋商店
東京日本橋區橘町四丁目 藥劑、滋養品、石鹸、香粧品、小間物問屋
電信略號 ○ミヤ 振替貯金口座東京七一〇番 電話浪花三〇、四四八、四四九、四五〇

ルーデサック
變形特製一個參拾錢 女用一個七拾錢 男用一打四拾錢上 製六拾錢
月經帶一個八拾錢壹圓各種(送料要)
▲花柳病自宅療法 進呈
東京ドラッグ商會滿鮮本部 京城永樂町二丁目交番北

質 京城黄金町二丁目(永樂町停留所北入) 堀佐營業所 (電話六三九番)

質 完全なる倉庫あり御報參上何品でも御預申升 片山質舖 明治町二丁目交番東小路

贊化病院 京城本町二丁目 電話二四番
内科 小兒科 入院隨意
毎日五名を限り無料施療す
醫學博士 古城憲治
醫學士 上野亮藏

大邱浦項間自動車時間
上り 浦項發 [illegible]
下り 大邱發 [illegible]
大塚農場自動車部 電話七番
大邱出張所 電話一一七番

日本郵船仁川出帆
○大連、大沽、牛莊行 相模丸 七月五日正午出帆
高砂丸 七月十五日正午出帆
三河丸 六月廿四日正午出帆
仁川海岸町一丁目 電話十一番 堀回漕部

汽船釜山出帆廣告
○門司、神戸、大阪行 立神丸 六月廿七日後五時出帆
○元山、清津、浦鹽行 立神丸 六月 日後十時出帆
○門司、神戸、大阪行 小倉丸 六月二十日後五時出帆
○元山、城津、浦鹽行 小倉丸 六月廿九日後十時出帆
○元山、西湖、新浦、城津、淸津行 第三琴平丸 六月三十日後六時出帆
○門司、宇品、神戸、大阪行 第三琴平丸 六月十九日後六時出帆
住須奈、嚴原、壹岐、博多行 天眞丸 毎月一日九日十四日廿一日廿六日 午後十時出帆
從山港埋立新町 本船取扱店 大池回漕部

阿波共同汽船仁川出帆
○芝罘、大連行 第六共同丸 六月十四日後三時 六月十六日前九時出
朝鮮鐵道主要驛にて朝鮮各港通輸送取扱仕候
大連にては青島行定期船に連絡し輸送取扱可仕候
○城津、淸津、浦鹽行(元山出帆) 第一阪鶴丸 月 日後九時出
○西湖津沿岸各港を經て雄基行 第三共同丸(元山出帆) 月 日前八時出
阿波國共同汽船株式會社
仁川代理店 山下回漕部
元山代理店 田口回漕部
京城取次店 河村運送店

朝鮮郵船出帆
○全羅丸 ○京畿丸 ○黄海丸 ○咸鏡丸 門司より釜山各港寄港 六月 日 釜山發
○穩城丸 ○昌平丸 ○鏡城丸 元山より各港寄港 六月 日 元山發
○忠淸丸 ○平安丸 城津、淸津、浦鹽 六月 日 元山發
○永興丸 北大坪、五與浦行 毎月廿八回 元山發
○咸德丸 甘浦、九龍浦、浦項各港寄港 六月 日 釜山發
○江陵丸 ○襄陽丸 長生浦方面 毎日 浦項發
○三浦丸 長承浦、巨文島、濟州島各港 六月 日 釜山發
○海州丸 ○統營丸 ○濟物丸 ○巨濟丸 ○慶興丸 各港寄港(三日目一回水浦行) 毎日 釜山發
○順天丸 各港經由 木浦發
○公州丸 各港經由 六月 日 木浦發
○公州丸 南多島海 六月 日 木浦發
○慶興丸 各港經由 六月 日 木浦發
○宗信丸 海州 各港 六月 日 仁川發
○江原丸 六月十六日 仁川發
○麗水丸 ○晋州丸 各港經由 六月 日 仁川發
○錦江丸 ○南陽丸 毎日午前 仁川發
○平安丸 六月十九日 六月十二日 群山發 若松發

大阪商船仁川出帆
○大正丸 群山、木浦、釜山、下關、神戸、大阪行 六月 日後四時出帆
○大有丸 ○大代丸 ○神吉丸 ○秀吉丸 六月十九日後四時出帆 六月廿四日後四時出帆
仁川海岸通 電話五十九番 高杉回漕部

尼崎汽船仁川出帆
○天草丸 ○安東丸 ○大智丸 ○大洲丸 群山、木浦、釜山、鎭南浦、大連、長崎行 六月廿五日 六月十八日 後五時出帆
○信濃川丸 ○信濃川丸 鎭南浦、大連行 六月十七日 後二時出帆
○日米丸 ○福州丸 大連直行 六月廿九日 正午出帆
○群山、釜山、横濱行 日米丸 七月 日 後二時出帆
○南浦、木浦、神戸、大阪行 大智丸 六月 日 後二時出帆
○群山、神戸、大阪行 宮島丸 六月二十日 後五時出帆
○須磨丸 ○宮島丸 須磨、淸津、城津、西湖津、元山出帆 七月 日 後二時出帆
○上海、基隆、打狗行(大連出帆) 基隆丸 六月廿八日 後四時出帆
御注意 切符發賣所 京城切符發賣所